

竹田

広報



12
2012
No.93

Taketa Public Relations



↑ 神原神楽座による「五方礼始」

郷土民俗芸能の魅力たっぷり! 「竹田市伝統芸能の集い」開催——— 洗練された「伝統芸能」の技が光る!

岡藩城下町 400 年祭事業「伝統芸能の集い」が竹田、荻、直入の各地域で開催され、竹田会場は 10 月 27 日、28 日の 2 日間、市役所本庁舎前駐車場で行われました。市内で現在活動中の獅子舞・神楽・白熊の団体が一堂に集結し、伝統芸能の技を披露しました。地域のコミュニティの核となり、祭りには欠くことのできない郷土民俗芸能は、竹田の「誇り」です。



勇壮に練り歩く「有氏白熊」。会場は多くの人出で賑わいました。

加速するTOP運動

岡藩城下町400年祭に始まり、豪雨水害に見舞われた今年も残り僅か……。来年の状況も踏まえつつ、現在その効果が表れている竹田市が掲げた政策の「状況」を紹介します。



↑鹿児島から宮砥地区に移住して1年半になる中島さんご夫妻

「加速する「農村回帰」

移住の夢を「美しい農村・竹田」で叶える——
中島さんご夫妻が、「空き家バンク」制度を利用して鹿児島県から宮砥地区の九重野小川自治会に移住して1年半が経過しました。

スムーズに地域の一員となれたのは、自治会の皆さんが温かく迎え入れてくれたからに他なりません。中島さんご夫妻も自治会活動に積極的に参加するなど、地域に溶け込もうとする姿勢があったことは見逃すことができません。
中島さんは現在、自ら農業を営む傍ら地元の農業法人の仕事やオペレーター業務を担うなど、今や高齢化率が60%を超える自治会にとって欠かせない存在となっております。

全国初の農村回帰宣言

平成21年12月4日、当時故・立松和平さんが理事長を務めるふるさと回帰支援センターと相互協力を締結し、「TOP運動」の象徴的な政策として、全国初の「農村回帰宣言市」を標榜しました。
過疎化の進行、空き家や耕作放棄地の増加、集落コミュニティの弱体化は農山村に共通する課題となっております。こうした「負の環境」を逆手にとって全国から移住者を受け入れ、少子・高齢化、過疎化に歯止めをかけ、コミュニティの再生につなげようとするものです。

加速する移住・定住

平成22年6月、増加する移住

希望者の相談にワンストップで応えるため「竹田市農村回帰支援センター」を設立しました。それ以降、47世帯88人の移住者をお迎えしてきました。特筆すべきは、その6割以上が20代〜40代の若い世代で、新たな地域コミュニティの担い手となっていることです。
また、昨年度入田と城原に建設した「子育て定住促進住宅」には10人の児童・幼児を含む17人が移住しました。少子化の解消に向けた取り組みも成果をあげています。

政策が生み出す相乗効果

過疎・高齢化が進行する竹田市において、人口の増加は重要な要素ではありますが、この政策を通じてただ単に人口が増えればいいというものではありません。移住した方が地域でどういう役割を担い、地域コミュニティの再生にどう関わるかということが重要です。
冒頭に紹介した中島さんご夫妻や中心市街地の空き店舗を活用してアートカルチャーを企画した20代の若者は、そのいい例です。
さらに、世界的に活躍する竹芸家や紙漉職人が移住し創作活動を始めるなど、農村回帰の取り組みと竹田の歴史・自然・文化の力が人を呼び込む、いい相乗効果が生まれています。

もくじ

- 特集・加速するTOP運動……………2
- 竹田市功労者表彰……………9
- 竹田市の財政状況をお知らせします……………10
- Build Back Better ビルド・バック・ベター～夢と希望を生む「創造的復興」～④……………14
- 市長コラム「有由有縁」第41回……………16

別冊 たけたん情報

12月のこよみ・TCT特番情報ほか

- TAKETAN FACE 今月のひと (山中裕子)……………17
- 竹田かわら版 TOWN TOPICS……………18
- 第46回衆議院議員総選挙・第22回最高裁判所裁判官国民審査……………20
- 福祉情報 「障害者週間」……………22
- たけたんアンテナ パート・クロツインゲンのコーナー／竹田雑感／生き活き興起……………24
- ミステリアス! 竹田キリシタン⑤ 入田編……………26
- 今月のイントロダクション ぼくたち・私たちの学び舎 (白丹小学校)／まるごと博物館⑧／図書館のおしらせ／ブクサン／誕生おめでとう……………28
- 健康情報 健康一直線・保健だより……………30
- 岡城遺産⑩ 八代藩主・中川久貞……………31
- 郷土の植物⑩③／すくすく1歳／食育レシピ……………32

人口のうごき

(前月比)

人口	24,659 人	(-70 人)
男性	11,458 人	(-30 人)
女性	13,201 人	(-40 人)
世帯数	10,649 世帯	(-30 世帯)
住民基本台帳登録人数 (平成24年10月31日現在)		



←木本保平茨木市長と握手を交わす首藤市長
前列左が、永井隆雄茨木L
C会長

9月29日、岡藩城下町400年祭記念式典において、故郷の歴史文化を再認識し、地域の先人たちの功績を学び、さらに魅力に磨きをかけて活動を広めていこうと、「歴史文化交流パートナーシップ宣言」が採択されました。そのパートナーシップを結んだ地域のひとつである大阪府茨木市は、北摂といわれる大阪北部に位置しており、人口約27万人の町です。「茨木ライオンズクラブ」と「竹田ライオンズクラブ」の間においては、岡藩の太祖である中川清秀公の出身地であることをきっかけとして、平成2(1990)年に友好クラブ、平成9(1997)年に姉妹クラブ提携を結びその「絆」を強め、以来20年以上にわたり交流を

歴史文化交流パートナーシップ宣言から1か月

大阪府茨木市「広がる交流の輪」

10月28日、『茨木ライオンズクラブ結成50周年記念式典』が大阪府茨木市で開催され、首藤市長が出席をしました。はじめに茨木市と竹田市の関わりについて中川氏・川端康成・キリシタン文化の話を説明した首藤市長は「両市のライオンズクラブによる民間団体レベルでの長年の交流から、行政としての交流へ発展したことを感謝するとともに、歴史文化交流パートナーシップ宣言を行った友好都市として、今後も交流を図って行きたい」と祝辞を述べました。先人の残した偉業に改めて感謝するとともに、今後も両市の友好がますます深く広がり、市民レベルでますます発展することに期待がかかります。



↑売上げの回復の要因は結束の固い「わかば」従業員一同の頑張りによるもの

「わかば」一気に形勢好転へ
災害を乗り越えて

一般社団法人農村商社わかばは、道の駅をはじめ市内、市外のアンテナショップで竹田の農産物、加工品の販売を中心に事業を展開しています。今年度は4月、5月と前年以上の売上をクリアしたものの6月の長雨、そして7月の災害と大変厳しい状況にあつたはずの道の駅すごうに至っては、従業員一同の頑張りにより、9月は前年度を上回る売り上げを確保できました。まだ大きな痛手の残る農家もいる中、皆様のご協力により全体的な売り上げもほぼ災害前の水準まで戻ってまいりました。今は、道の駅を中心に観光バスの誘致などに力を入れており、マスクミを通じて竹田市をアピールし年末のギフト商戦へ向けて頑張っています。農業のブランド化と流通革命を目標に取り組んでいます。

竹田市立こども診療所が開設3周年を祝う記念シンポジウム開催！

『子どもは未来、進めよう！途切れることのない支援の輪』

11月4日、竹田市立こども診療所3周年を記念し、『子どもは未来、進めよう！途切れることのない支援の輪』をテーマとしたシンポジウムが竹田市総合社会福祉センターで開催されました。

はじめに現状の報告として、高野智幸竹田市立こども診療所所長が「こども診療所の軌跡と現在の状況」、渡辺由美子竹田市健康増進課主任保健師が「竹

田市の子育て支援施策について」を説明しました。

続いて、梅木純副市長と佐々木成二こども診療所事務長が『笑顔・信頼・夢を地域と分かち合い、未来へのさきがけとなる公立診療所をつくります』というこども診療所の理念を披露しました。



↑シンポジウムで、会場の質疑に答えるパネリスト



↑専門的な立場から講演



←講演をする泉教授



↑会場に訪れた多くの市民のみなさん

が「竹田市における地域小児科医療と小児医療」その実践と成果、将来への指針」と題して、基調講演を行いました。(1)小児専門医の派遣と常勤化(大学・地域の病診連携、教育・研修の後方支援)、(2)予防医学の推進がもたらす成果(5種ワクチンの無料化、発病率の低下と合計特殊出生率の上昇)、(3)5歳児健診への医療協力(医療と福祉・保健・教育行政の連携強化)による不登校児ゼロへの期待)など本市における小児医療、小児医学の推移を解説していただきました。

また、安心して子どもを産み育てやすいまちを目指し、『地域小児医療、健診、予防医学の先進

市立こども診療所3周年記念「健康一直線 子育て一番宣言」 全市をあげて小児医療の充実に努めていく

(…前略) 本日、診療所開設3周年を迎えるに際し、『子どもは未来、進めよう！途切れることのない支援の輪』と題したシンポジウムを開催した。このスローガンに則り、「保健」、「医療」、「福祉」、そして「教育行政」の連携をこれまで以上に緊密にし、日本一の子育て環境を整えていく覚悟を新たにした。

具体的には、市として全国初の5種類の任意予防接種の全額補助を実施してきた実績に加えて、今後はロタウィルスやB型肝炎など、保護者が求めるワクチンの早期無料化を目指すとともに、発達障がいや早期に発見し、早期に適切な支援を図るため、5歳児健診やこれに続くフォロー相談会のさらなる充実を図っていく。そしてこれらの実現のためにも「こども診療所」が永続的に運営していくことができるよう、環境整備を進めながら、全市をあげて小児医療の充実に努めていく。

以上、ここに改めて『健康一直線子育て一番』を宣言する。



↑「子ども診療所の軌跡と現状」報告をする高野こども診療所所長



↑進化した「健康一直線子育て一番宣言」をする首藤市長

モデル地域』に発展への期待を込めて、泉教授は「継続するところが大事。竹田の取り組みは、いつしか全国でも輝くものになる」と、講演を締めくくりました。

引き続き泉教授がコーディネーターを務め、メインプログラムのとしてシンポジウムが行われました。

パネリストには、是松聖悟、大分大学医学部地域医療・小児科分野担当教授、末延聡一大分大学医学部小児科、大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業教授、清田晃生大分大学医学部附属病院小児科・児童精神科(こどもメンタルクリニック)助教、安東和子大分県教育庁特別支援教育課課長の4名を迎え、各専門分野からの講演をいただきました。終了後に質疑応答が行われました。

「こども診療所」設立3周年は、水害を乗り越えて迎えた価値のあるものとなりました。最後に首藤勝次市長が健康一直線「子育て一番」宣言を読み上げ、関係者は改めて、地域における小児医療の充実に誓いました。

2年目の「竹田総合学院(TSG)」 「紙人講座」「短歌講座」が発展の兆し



↑「竹田を詠む」をテーマに2回目の短歌講座を開講。応募数が300首以上と人気上昇

竹田に埋もれた歴史・文化の再発見と、竹田に根付いた人材育成・起業・就業支援の二本柱で事業を展開し、農村回帰宣言による移住定住促進と雇用創出を目指してスタートした竹田総合学院(TSG)事業。平成23年度は大分合同新聞文化センターとの連携により実証実験的に事業を開始し、「歴史・文化再発見講座」で竹田市ならではのテーマで4講座を開講しました。うち「紙人講座」「短歌講座」については、平成24年度も継続されそれぞれの発展をみせています。

「紙人講座」は、6月に講師の富永嘉子先生を訪ねて山口市で視察研修を行い、9月に竹田創生館にて作品の展示活動を行いました。岡藩城下町400年祭記念式典で竹田市を訪れたドイツのゲストにはお土産として「紙人」が贈られました。現在は竹田市野外活動施設を活用し、月2回の製作活動を行っています。月2回の製作活動を行っていますが、今後は、市内各地で展示会を企画したり、新たなお土産・民芸品として商品化をめざしたりと、竹田市産和紙と合わせて輪が広がっていくことが期待されます。

短歌講座は、平成24年3月に講座をスタートさせ「竹田を詠む」と題して短歌作品を募り、竹田の魅力を短歌に込めて歌いあげました。今年度は「火または灯」「自由題」をテーマに短歌作品を募集し、300首以上の応募がありました。遠くは愛媛県からの応募や、鳥取県の中学生が学年で取り組み応募したものもありました。短歌を介して文化の薫り高い竹田市の魅力を再発見し、また県外へは竹田市の情報発信を行うことができました。

人材育成

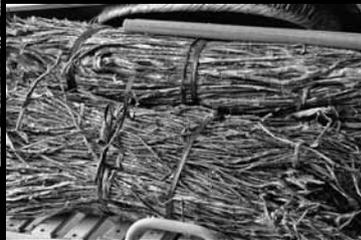
空き家バンク制度を利用して、竹田市に移住を希望する人の中には、伝統文化を重んじながら、自らの夢を切り拓こうとする若者の姿があります。芸術・文化を育む「竹田」の土壤で暮し始めた「若き匠たち」をご紹介します。

伝統工芸というものは、その土地に還っていくもの、

おの かのよ
小野 加代 (31歳・大分市出身)
手漉き和紙作家



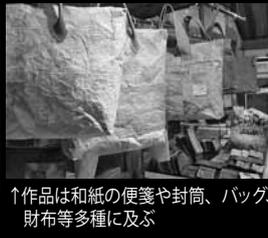
↑和紙工房「和紙場 地(ワシバジ)」(竹田市吉田・☎090-9604-6441)は12月3日オープン



←和紙の原料となる楮(こうぞ)。来年は竹田産の活用を計画している。



→紙漉きで一番難しいのは経験が必要で「原料づくり」。



↑作品は和紙の便箋や封筒、バッグ、財布等多種に及ぶ

学生の頃からモノづくりが好き。もともと日本の伝統工芸に興味があった小野加代さんはある日、相談相手に和紙製のジャンパーやズボンを見せてもらう機会を得る。素材としての「和紙」に瞬く間に心を奪われ、それはこの道を志すきっかけとなった。そして、今もその魅力に翻弄され続けているという。

地元大分を離れ、京都伝統工芸大学校で和紙の基礎を学ぶ。卒業後、全国でも有数の和紙産地・福岡県八女市で4年間の修業を積む。独立してやっつく場所を探していたところ、ホームページの情報や、作家の知人から竹田を紹介された。地域の人々の支援と、その熱意に後押しされ、今年7月、移住を決めたのである。

竹田の伝統工芸である「竹田和紙」は、岡藩によって興された格式のある手漉き和紙だが、約10年前にその伝統は途絶えていた。

小野さんの真摯に取り組む姿に「復活」の思いを託そうと、「竹田和紙」の紙漉きを代々継承してきた二家族の方から、貴重な道具一式を譲り受けたという。

「地域で紙漉きを辞めて50年。その職人の遺族から大事に守り続けてきた道具を譲り受けた。この思いを汲まないといけない。伝統工芸というものは、その土地に還っていくものだと強く思っている。土地に入る覚悟を決めたからには、あらためて力をもたせて頑張ろうと思った。」

現在、紙漉きの本格的シーズンの冬場の準備と、自宅兼工房のオープンも重なり、慌ただしい日々を送る。小野さんの夢は「植物性の素材で作られた『日本文化』をいつか海外に向けて出していきたい。夢を糧に、地元産による「竹田和紙」の復活もそう遠くはないだろう。

縁に導かれて、この土地に辿り着いた若き匠の挑戦は、今始まったばかり――

竹藝は、自分の「核」である。

竹藝家

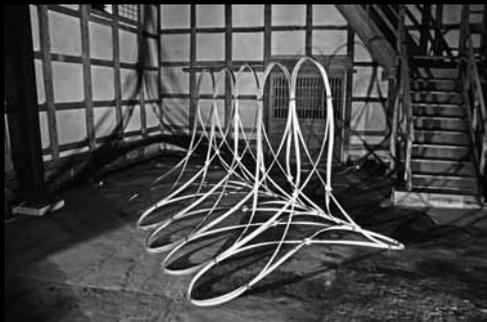
中臣 一

なかとみ はじめ

1974年大阪府和泉市に生れる。大学在学中に竹芸に出会い、竹の持つ美しさ無限の可能性に強い衝撃を受ける。大学卒業後、日本唯一の公立竹芸教育研究機関である「大分県竹芸芸訓練支援センター」で2年間基礎を学ぶ。センター修了後は竹芸家・本田聖流氏に師事し、2005年独立。現在は国外向けオブジェ制作ほか幅広い創作活動を行っている。竹田市在住。



黙々と竹を編む中臣さん。「手を動かしている時が一番落ち着きます。普通に竹と向き合っている時に幸せを感じる」



↑作品「8で祝ぐ」(言祝(コトホ)ぐを基本にした造語)縁起のいい素材、形、色を総動員。(アートカルチャー2012・吉川屋蔵にて展示)



←今年の竹楽で豊音寺横の小道に登場した「竹田ルミナリ工」。今年の水書の鎮魂の意味を込めて、実行委員会と制作。素朴で竹田らしい作品。

七里から岩壁をくり貫いた細いトンネルを抜けると木の葉の隙間から本漏れ日が漏れ、野鳥の鳴き声があちこちから聞こえてくる。その山間の歴史を感じさせる屋敷に移住してきた中臣さん(分感)。人間国宝・生野祥雲斎先生のご子息・徳三先生の紹介もあり、縁あって今年6月に移住。高度な技術と竹の造形美が海外でも高い評価を得ており、将来が期待される若手の竹芸作家である。竹田で生活をはじめて半年が経過。周囲に語られる方もいる。南画が町の至るところにある。「さすが田能村竹田の居たところ。文化的なレベルの高さを感じます」と感心する。文化に理解のある土壌は、作家にとつての住みややすさに繋がっているようである。

この道に進むきっかけは、当時学生だった中臣さんが東京のデパートで開催されていた職人展で、現在若手竹細工の団体「BAICA」の大橋重臣代表による竹芸の実演を目の当たりにしたことに始まる。鮮明な記憶とともに「この時、衝撃を受けた」と振り返る。

現在、竹田での活動は、アメリカ向けのオブジェや来年4月開催の個展に向けての作品創りが中心となっている。

また、「REVALUE NIPPON PROJECT」という工芸家を応援するプロジェクトを立ち上げた中田英寿さんとのコラボレーション作品「竹のシャンデリア」。こちらも来年早々の発表に向けて制作を進めているところである。

『竹』は、山から切り出したそのままでは竹芸の材料にはならない。火や湯で養分を抜き天日干しをする「油抜き」を行い、2か月程干して、青みが消えた後、初めて工芸材料となる。将来的には地元産の『竹』から中臣作品が誕生するかもしれない。

「竹藝は切っても切り離せない、自分の『核』ですね。竹のお陰でいろんな人と知り合っし、竹と出会ってよかったなと思いますね」

常に新しい創造力を感じさせる中臣作品は、今日もこの竹田の地で生まれている。

国際人・廣瀬武夫と

日露ローカル外交

「おうめい 嚶鳴フォーラム」が授けてくれた方

平成22年度に竹田市で国際人・廣瀬武夫をテーマにした「嚶鳴フォーラム in 竹田」を開催しました。ロシアに駐在し、ロシア人と親交を深めた廣瀬武夫に学びながら、フォーラムを機に交流の輪が広がりました。NHKスペシャルドラマ

「坂の上の雲」廣瀬武夫役藤本隆弘さんをはじめ、ロシア大使館文化担当フェシユン一等書記官、日露文化センター川村秀代表、NHK解説委員で前モスクワ支局長の石川一洋氏などが登壇され、これらのロシアとの人脈がその後の竹田市ローカル

外交としての日露交流に活かされています。

昨年の「竹楽」では、総務省外郭団体の財団法人自治体国際化協会から地域国際化施策特別対策事業の助成金採択を得て、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」アリアズナ役のマリナ・アレクサンドロワさんと、7年間ドラママリサーチャ



↑廣瀬武夫ブロンズ像(市立歴史資料館前広場)

ーを務めたスヴェトラナ・フルツカヤさんにお越しいただく中で日露文化交流が実現しました。スヴェトラナさんはロシアにおける廣瀬武夫研究家でもあり、アリアズナの出生に関する新事実の発見にも貢献されました。

平成21年度に市民向けに開催した「プレ嚶鳴フォーラム」でパネリストを務めたポポリイ

「サント・ペテルブルグと」荒城の月」

画家のマクシーモア画伯も川村秀先生の人脈による親日家の一人で、廣瀬武夫が駐在したサントペテルブルグの露日協会に所属され、日本文化を広める交流活動に取り組みられています。毎年、日本に長期滞在され、文化や風景を描き、サントペテルブルグで開催される日

ーキナ・エカテリーナさんは、当時東京大学研究生として日本文学や文化を研究していましたが、帰国後はロシア国立高等経済学院大学東洋学部日本語学科の教師となりました。ここで、竹田市のロシア交流の人脈と大学連携のネットワークが活かされて、昨年度から夏季研修期間中に学生約10名を引率し、別府大学国際セミナーに参加され、期間の一部を竹田市でホームステイしながら市民レベルの日露文化交流を深めています。

日露文化センター・川村秀代表は、文藝春秋臨時増刊号「坂の上の雲」特集で、3年間廣瀬武夫研究の成果を発表され、約30年間ロシア在住の幅広い人脈は、数々の歴史的な新事実の解明にもつながりました。

本文化フェスティバルで展覧会を開催しています。今年の春には、川村秀先生の導きにより初めて竹田市を訪れ、岡城桜祭りを含む2週間の滞在期間中に描かれた作品の展覧会が10月に開催されました。今回の主題は「荒城の月」で、岡城跡の風景を中心に、廣瀬神社、岡藩主お



↑「嚶鳴フォーラム in 竹田」廣瀬武夫を語るパネルトーク (H23.10.23 竹田市文化会館)



↑アリアズナ役マリナ・アレクサンドロワさんと日露文化交流 (H23.11.18 廣瀬神社)



↑ロシア国立高等経済学院大学と竹田高校生との交流 (H24.7.28 竹田高校)



↑「竹田の山にかかる雲 九州大分県」
廣瀬武夫の一生や夢のように、儚く吹き散る



↑開会行事で廣瀬武夫と瀧廉太郎を紹介。
(H24.10.11 ロシア・サンクトペテルブルグ市)



↑竹田でスケッチするマクシーモア画伯
(H24.3 岡藩主おたまや公園)



↑ローカル外交 24 年目のドイツ・バートクロツインゲン市との交流



↑ドイツ・ライプツィヒ市から出席のユルゲン・エルンスト事務総長
（瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール）



↑マクシーモア画伯作 2013 年カレンダー「荒城の月」

たまや公園、久住山など、竹田市の風景作品10点が展示されました。サンクトペテルブルグ市街地にある重厚な市立図書館の一室が展覧会の会場となり、竹田市関係者のほか、静岡県下田市から参加の日口協会下田支部の15名や、サンクトペテルブルグ市、サンクトペテルブルグ露

日協会、日本総領事館など、日露交流関係者で展覧会会場は熱気に包まれました。開会セレモニーでは、竹田市の紹介と挨拶の機会を得て、展覧会タイトル「荒城の月」にちなんで、名曲「荒城の月」が誕生した際、サンクトペテルブルグ駐在中の廣瀬武夫の下にドイツ留学中の

瀧廉太郎から送られてきた「荒城の月」の曲譜が称賛を得たエピソードを紹介したり、日本人参加者で「荒城の月」の歌を披露したり、竹田市との文化のつながりを共有することができました。
マクシーモア画伯は、今回の展覧会で、「荒城の月」という筆字を題字に、岡城跡の風景を表紙画にして、竹田市を描いた作品を盛り込んだ2013カレンダーと作品カタログを出版され、サンクトペテルブルグで広めていただいています。巻頭のあいさつ文では、画伯の感じ取った竹田市の描写が日露両言語で紹介されており、竹田市の景観や文化、市民に初めて接して感激された様子が克明に伝えられています。

ロシアのほかに、温泉を通じた交流が続いているドイツのバートクロツインゲン市はすでに交流24年目を迎えています。9月の岡藩城下町400年祭では、ライプツィヒ市からゴールドフース国際関係室長がご出席され、また10月に開催された瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクールには、ライプツィヒ市からメンデルスゾーン家が設立した「国立ライプツィヒ音楽院」に瀧廉太郎が留学したことによる

芸術があり、物語が生まれたこと。国境を越えて心を動かせるものは文化であり友情であることとを国際人・廣瀬武夫は教えてくれます。
来するメンデルスゾーン基金のユルゲン・エルンスト事務総長もご出席いただきました。このコンクールでは3年前から「ライプツィヒ賞」もいただいております。先人顕彰とともに、竹田ならではの「ローカル外交」の展開が生まれています。
今後も固有の歴史文化の蓄積から広がる独自性高く先進的なローカル外交の進展による文化創造と政策展開を目指します。

「独自性・先進的ローカル外交の進展

功績をたたえて

竹田市は、市に功労のあった個人及び団体に対し、毎年表彰を行っています。(今年は個人のみ) 11月3日、竹田市総合社会福祉センターで表彰式を行い、首藤勝次市長が表彰状を個人7人、感謝状を5人(内2人欠席)に、また麻生裕美教育委員長が個人2人に表彰状を贈りました。(敬称略)

市長表彰

◆社会民生

河野 泰三(竹田・木原)

永年にわたり交通指導隊員を務め、地域住民の交通安全に寄与されました。

熊谷 明(久住・牧ノ元)

永年にわたり交通指導隊員を務め、地域住民の交通安全に寄与されました。

本田 訓敏(萩・藤渡)

永年にわたり交通指導隊員を務め、地域住民の交通安全に寄与されました。

◆産 業

阿南 優(萩・馬場)

永年にわたり造林委員を務め、公有林の保全育成に寄与されました。

志賀 一幸(久住・神馬)

永年にわたり農業委員会委員及び会長を務め、農地の確保と有効利用を進め、農業振興に寄与されました。

◆地方自治

高堂 寛治郎(竹田・下町)

永年にわたり自治会長を務め、自治会の円滑な運営と市政の発展に寄与されました。

塩崎 美佐子(竹田・寺町)

永年にわたり自治会長を務め、自治会の円滑な運営と市政の発展に寄与されました。

教育委員会表彰

◆社会教育

高橋 孝一郎(萩・恵良原)

永年にわたりスポーツ推進委員を務め、スポーツ・レクリエーションの普及振興に寄与されました。

◆学校教育

沖田 一幸(直入・南原)

永年にわたり経営するぶどう園を小学校の体験学習の場として提供し、学校教育の振興に寄与されました。

市長感謝状

川崎重工業株式会社

代表取締役社長 長谷川 聡

竹田市に広大な土地及び多額の寄附をされ、本市の振興に寄与されました。

阿南 茂啓(大分市)

竹田市子育て定住促進住宅建設用地として土地を寄附され、本市の人口増加対策に寄与されました。

堀 恵子(大分市)

平成24年度竹田市功労者表彰式



↑功労者表彰式にご出席のみなさん
〔後列左から〕加藤正義議長、川崎重工業(株)鳥居敬総務部長、高橋孝一郎さん、阿南優さん、本田訓敏さん、沖田一幸さん、堀恵子さん、土居昌弘県議、梅木純副市長、吉野英勝教育長
〔前列左から〕河野泰三さん、熊谷明さん、塩崎美佐子さん、首藤勝次市長、下藤恒夫さん、麻生裕美教育委員長、志賀一幸さん、高堂寛治郎さん

竹田市子育て定住促進住宅建設用地として土地を寄附され、本市の人口増加対策に寄与されました。

田ノ上 政江(久住町在住)

文化会館のピアノ被災を受け、ランドピアノを寄贈され、本市の芸術文化振興に寄与されました。

下藤 恒夫(竹田・阿蔵)

県指定史跡キリシタン洞窟礼拝堂の隣接地を寄附され、本市

市民1人あたりの行政サービス

1人あたり1年間で730,058円が使われました。うち福祉や教育に245,152円。
1人あたりの市税負担は79,407円。昨年度より3,619円の増。

議会・総務費 137,087円 市議会や市役所の運営、選挙など 	民生費 185,085円 高齢者、障がい者、児童福祉など 	衛生費 60,693円 検診や予防接種、ごみやし尿処理など 	労働・商工費 24,084円 雇用対策、商工業や観光の振興など 	農林水産業費 72,710円 農業や林業の振興など 																
市税の内訳 <table border="1"> <thead> <tr> <th>市税内訳</th> <th>市民一人あたりの負担額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民税</td> <td>31,913万円</td> </tr> <tr> <td>固定資産税</td> <td>36,925万円</td> </tr> <tr> <td>軽自動車税</td> <td>2,973万円</td> </tr> <tr> <td>市町村たばこ税</td> <td>5,847万円</td> </tr> <tr> <td>入湯税</td> <td>836万円</td> </tr> <tr> <td>都市計画税</td> <td>913万円</td> </tr> <tr> <td>市税全体</td> <td>79,407万円</td> </tr> </tbody> </table>	市税内訳	市民一人あたりの負担額	市民税	31,913万円	固定資産税	36,925万円	軽自動車税	2,973万円	市町村たばこ税	5,847万円	入湯税	836万円	都市計画税	913万円	市税全体	79,407万円	土木・災害復旧費 54,051円 道路や河川、住宅や公園の整備など 	消防費 26,352円 消防、水防、救助活動など 	教育費 60,067円 学校教育・文化・スポーツ振興など 	公債費 109,929円 市の借金の返済など 
市税内訳	市民一人あたりの負担額																			
市民税	31,913万円																			
固定資産税	36,925万円																			
軽自動車税	2,973万円																			
市町村たばこ税	5,847万円																			
入湯税	836万円																			
都市計画税	913万円																			
市税全体	79,407万円																			

知らせします

・県からの交付金などにどのくらい竹田市をチェックしてください。

決算

地方自治法第243条の3第1項、竹田市財政状況の作成及び公表に関する条例第2条の規定に基づき、平成23年度の決算状況と平成24年度上半期の財政状況を公表します。

健全化判断比率

いずれも早期健全化基準を下回り、昨年度より改善

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率を用いて地方公共団体の財政状況や経営状況を把握します。このいずれかが一定基準以上となった場合には、財政健全化計画または財政再生化計画を策定し、財政の早期健全化を図らなければなりません。

竹田市の実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字額がありませんでした。実質公債費比率は9.0%、将来負担比率は44.5%となっており、昨年度より改善しています。(平成22年度実質公債比率10.2%、将来負担比率57.2%)引き続き計画的な市債の発行や有利な市債の活用により、財政基盤の強化に努めていきます。

健全判断化比率	竹田市の比率	早期健全化基準
実質赤字比率	—	13.10%
連結実質赤字比率	—	18.10%
実質公債費比率	9.0%	25%
将来負担比率	44.5%	350%

基金と地方債

基金残高は 91億3,191万円
借金残高は 202億1,724万円

基金は、安定的な財政運営を行うため、特定の目的別に積み立てられ、または、定額運用するために設けられた資金及び財産です。平成23年度はダム関連周辺整備基金と障害者自立支援対策特例基金が廃止されました。平成23年度の残高は、財政調整基金36億5,425万円、減債基金3億9,964万円、その他特定目的基金50億7,803万円となっています。

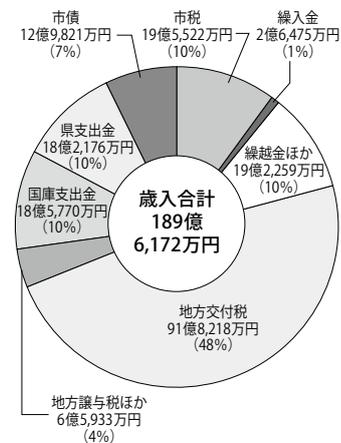
また、資金調達のために負担する債務で一会計年度を超えて行われるものを地方債(市債)といいます。市債で整備した道路や公共施設などは、市民の皆さんが将来にわたり利用するものです。その返済は利用する次の世代の方々にも負担してもらうという考えに基づいています。

平成23年度の地方債発行額は12億9,821万円で、主な事業はリサイクルセンター建設事業やふるさと融資金貸付事業や土地改良事業等がありました。

一般会計の歳入と歳出

歳入 189億6,172万円、うち自主財源は41億4,256万円。
 歳出 179億7,621万円、うち義務的経費に86億3,303万円。

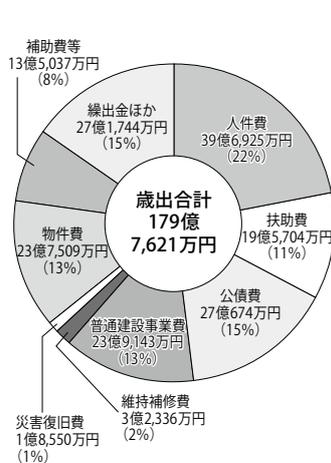
歳入



平成23年度の一般会計の歳入は、189億6,172万円でした。

内訳は国・県を頼りにした依存財源が148億1,918万円（78.2%）、竹田市の自主的な収入である自主財源のうち市税は19億5,522万円、歳入全体の約10%ほどです。

歳出



平成23年度の一般会計の歳出は、179億7,621万円でした。

性質的に見ると、義務的経費（人件費・扶助費・公債費）が86億3,303万円（全体の48%）、そのうち借金返済のための公債費が27億674万円。投資的経費（普通建設事業費・災害復旧事業費）が25億7,693万円（14.3%）、そのうち普通建設事業費が13%。その他の経費（物件費等）が26億9,845万円（15%）となっています。

○地方交付税：国内一定水準の行政サービスを提供するために国から交付されたお金
 ○地方譲与税：国税として徴収された後、地方自治体の財源として譲与される租税
 ○国庫・県支出金：特定の目的のために県や国から交付されたお金

○市債：市民のための施設や道路の建設工事や災害復旧事業にあてるための借入金
 ○繰越金：前年度の会計から持ち越されたお金
 ○繰入金：各種基金などから繰り入れるお金

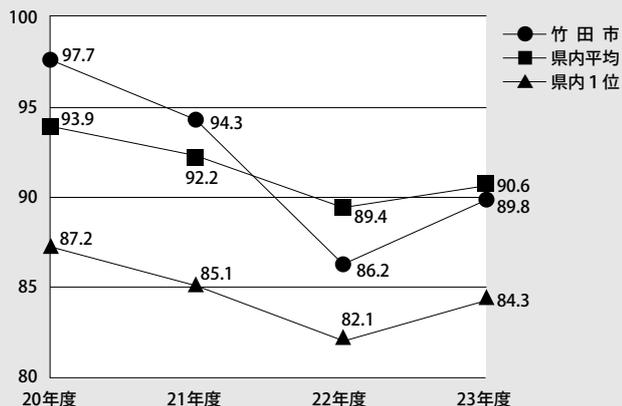
竹田市の財政状況をお

竹田市の平成23年度の決算がまとまりました。税金や国収入があり、どのように使われたのか、市民みなさんの目で、

経常収支比率 平成22年度と同水準

人件費、扶助費、公債費などの経常経費に、市税や地方交付税等の経常一般財源がどの程度投入されたかを見る指標で、この比率が低いほど普通建設事業費などの臨時経費に充当できる一般財源があり、財政構造が弾力性に富んでいることになります。

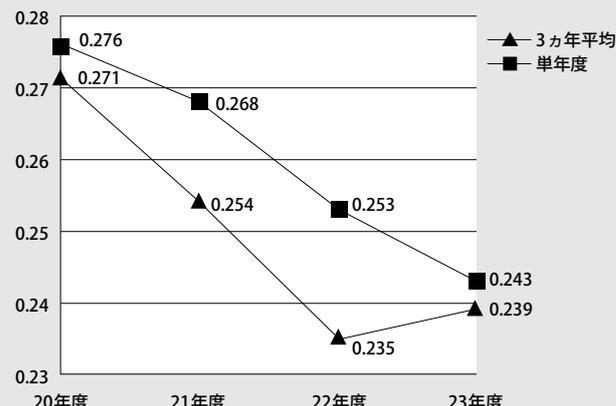
平成22年度の86.2%から平成23年度は89.8%と、依然として財政状況にゆとりはありません。



財政力 国への依存度が高い

基準財政収入額（標準的な財政収入）を基準財政需要額（標準的な財政需要）で割って得た数値の過去3年間の平均値を財政力指数といい、地方公共団体の財政力を示す数値です。

数値が1に近いほど財源に余裕があるということになりますが、竹田市は0.243で、今後も収納率の向上や企業誘致など財政基盤の強化が求められます。



財産 土地・建物は増加、 公用車は2台増

企業誘致として土地の売却を行ったなどの理由により、土地は37,490㎡減少しました。

財産の種類	財産状況
土地	35,999,037㎡
うち山林	13,994,793㎡
建物	236,414㎡
立木	364,470㎡
車両	200台

目的税 入湯税と都市計画税の使いみち

市税のうち都市計画税と入湯税は、特定の財政需要をまかなうために課税される目的税です。

都市計画税は、竹田市においては都市計画区域のある竹田地域の一部が対象となります。

平成23年度の都市計画税徴収額は2,248万円で、竹田玉来線街路事業負担金546万円と当事業等に係る地方債の償還金に充てています。

入湯税は、竹田市では条例により日帰り客への課税を免除していますので、主として宿泊入湯客が課税の対象となります。

平成23年度の入湯税徴収額は2,058万円で、観光振興としてパンフレット製作、観光案内版の作成、観光誘致対策事業等の費用に充てています。

特別会計 子ども診療所の歳入歳出差引額は2,631万円のプラス収支

(単位:万円)

会計名	歳入額	歳出額	差引	会計名	歳入額	歳出額	差引
同和对策事業特別会計	2,122万円	2,122万円	0	介護保険特別会計	31億6,860万円	31億5,994万円	866万円
竹田市立子ども診療所特別会計	1億189万円	7,558万円	2,631万円	簡易水道事業特別会計	2億2,116万円	2億2,098万円	18万円
畜産開発事業特別会計	4,431万円	4,431万円	0	農業集落排水事業特別会計	1億2,334万円	1億2,310万円	23万円
長湯観光温泉施設等特別会計	6,934万円	6,244万円	690万円	浄化槽整備推進事業特別会計	1億4,448万円	1億4,427万円	21万円
国民健康保険特別会計	37億8,068万円	37億7,558万円	510万円	国民宿舎久住高原荘事業特別会計	2億9,422万円	2億9,422万円	0
後期高齢者医療特別会計	3億5,715万円	3億5,553万円	163万円	国民宿舎直入荘事業特別会計	7,371万円	6,953万円	418万円

平成23年度 竹田市水道事業会計決算状況 一戸あたりの月額水道料金4,156円(消費税抜き)

収益的収入及び支出

収入額	1億8,818万円
支出額	1億5,783万円
差引	3,035万円

収益的収入及び支出は、水道事業の経営活動に伴い発生する収益と、それに対応する費用の収支をいいます。主な収入は水道料金で、支出は総係費、配水及び給水費等です。

1戸あたりの月額水道料金 4,156円(消費税抜き)

資本的収入及び支出

収入額	383万円
支出額	7,413万円
差引	-7,030万円

資本的収入及び支出は、水道事業の将来の経営活動に備えて行う建設改良等に要する収支をいいます。主な収入は工事負担金で、支出は建設改良費や企業債の償還金等です。不足額は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額(100万円)、当年度分損益勘定留保資金(3,035万円)、減債積立金(1,635万円)、建設改良積立金(1,000万円)、過年度損益勘定留保資金(1,260万円)で補てんしました。

企業債残高

財務省財務局	2億4,657万円
公営企業金融公庫	2,821万円
計	2億7,478万円

固定資産の現在高

有形固定資産	14億0,164万円
無形固定資産	8万円

業務量

事項	平成23年度
年度末給水人口	7,258人
年度末給水戸数	3,376戸
年間配水量	1,294,742㎡
1日平均配水量	3,538㎡
有収率	75.4%

今後の竹田市……

今回は平成23年度の決算状況及び平成24年度上半期執行状況をお知らせしました。今年7月の豪雨災害によって多くの家屋や公共施設、農地農業施設等が被災しました。今後は災害復旧を主とした、市民生活の安全・安心の向上を第一優先に予算配分をしていく予定です。また、これまで取り組んできた竹田市独自の政策も、可能な限り対応していきます。

平成23年度決算では、義務的経費である扶助費や老朽化した公共施設の維持管理費などは年々増加する傾向にあり、災害復旧事業と同時に執行していくのは大変厳しい状況です。そのため、公共施設の調査・縮小等、事務事業の見直しを行い、予算規模の縮小を検討します。また、組織・機構の見直しや定員管理計画に基づき、人件費等の経常経費の削減に努め、中・長期的な戦略を立て、将来を見据えた行財政運営を行っていきます。そして、災害からの復旧を最優先課題と位置づけ、災害に強いまちづくり(ビルドバックベター)を推進し、かつTOP運動で展開されている重点プロジェクトに取り組んでいきます。

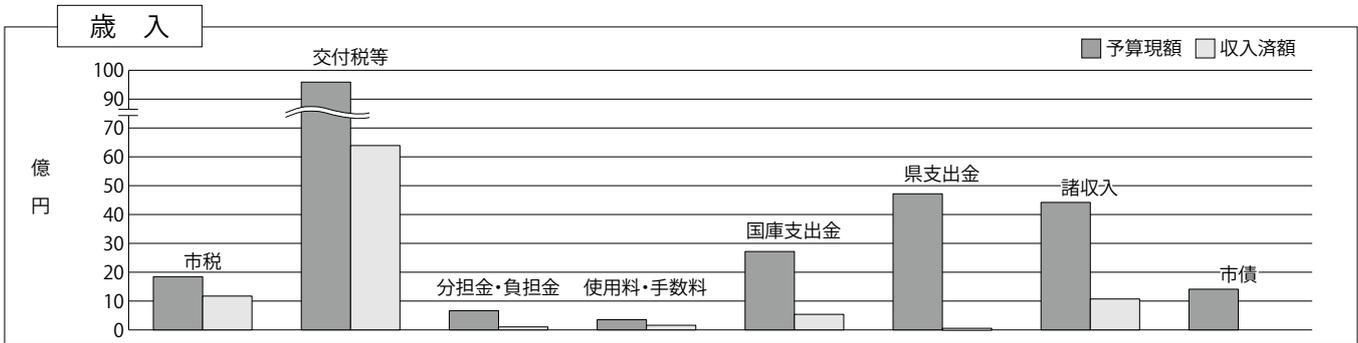
市民の皆様には今後も、広報誌やホームページ、ケーブルテレビなどを通して竹田市の財政状況をお知らせします。

平成24年度 上半期の予算執行状況をお知らせします

市民の皆さんに市の財政運営を知っていただくために、予算執行状況を年2回公表しています。

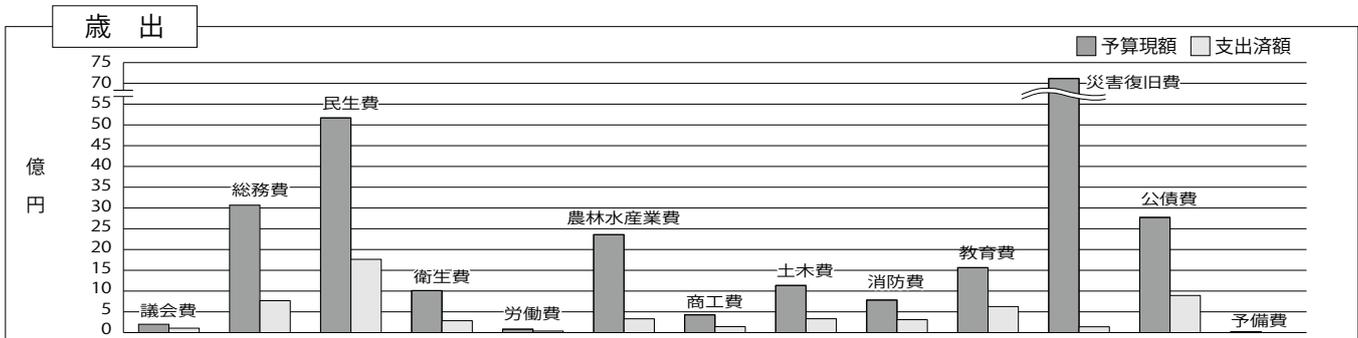
今回は、平成24年9月30日現在の執行状況をお知らせします。

一般会計 256億8,653万円 (平成23年度予算からの繰越分を含む。)



(平成23年9月30日現在 単位:万円)

歳入				歳出			
区分	予算現額	収入済額	執行率	区分	予算現額	支払済額	執行率
市税	184,386	117,290	63.6%	議会費	20,094	10,685	53.2%
交付税等	955,749	639,130	66.9%	総務費	306,776	76,799	25.0%
分担金及び負担金	66,479	10,386	15.6%	民生費	516,882	176,395	34.1%
使用料及び手数料	35,312	16,100	45.6%	衛生費	101,118	28,626	28.3%
国庫支出金	271,817	53,958	19.9%	労働費	8,193	3,722	45.4%
県支出金	471,830	5,604	1.2%	農林水産業費	235,834	33,217	14.1%
諸収入	441,987	107,268	24.3%	商工費	42,754	14,330	33.5%
市債	141,093	0	0.0%	土木費	113,526	33,377	29.4%
				消防費	78,381	31,139	39.7%
				教育費	156,421	62,692	40.1%
				災害復旧費	709,735	14,005	2.0%
				予備費	277,264	89,383	32.2%
合計	2,568,653	949,736	37.0%	合計	2,568,653	574,370	22.4%



特別会計の執行状況

(単位:万円)

会計区分	予算現額 (A)	歳入執行状況		歳出執行状況	
		収入済額 (B)	収入率 (B)/(A)	支出済額 (C)	支出率 (C)/(A)
国民健康保険特別会計	392,604	137,938	35.1%	159,574	40.6%
簡易水道事業特別会計	27,284	4,460	16.3%	7,087	26.0%
介護保険特別会計	370,401	144,733	39.1%	135,036	36.5%
農業集落排水事業特別会計	11,920	5,339	44.8%	4,170	35.0%
浄化槽整備推進事業特別会計	22,697	6,667	29.4%	6,323	27.9%
国民宿舎久住高原荘事業特別会計	32,865	11,233	34.2%	16,182	49.2%
国民宿舎直入荘事業特別会計	8,331	2,903	34.8%	2,610	31.3%
畜産開発事業特別会計	1,617	0	0.0%	0	0.0%
長湯観光温泉施設等特別会計	5,602	2,863	51.1%	1,780	31.8%
後期高齢者医療特別会計	40,224	10,585	26.3%	6,500	16.2%
竹田市立こども診療所特別会計	9,093	5,273	58.0%	2,651	29.2%

水道事業会計の執行状況

(単位:万円)

区分	業	収入	支出	収入・支出率 (B)/(A)
区	分	予算現額 (A)	収入支出済額 (B)	
収益的収入及び支出	事業	18,655	8,629	46.3%
	費用	18,445	5,018	27.2%
資本的収入及び支出	資本的収入	649	66	10.2%
	資本的支出	11,882	2,251	18.9%

用語説明 「一般会計と特別会計」

一般会計は、市の予算の中心となる基本的な会計です。特別会計は、特定の事業を行う場合や、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計とは区別して経理する必要がある場合に設置される会計です。

●お問い合わせ

財政課財政係

☎ 63-1111 (内線 231、232)



支援の手

竹楽に参加した「Cheer! Taketa」のみなさん →



↑市長に竹金箱を手渡す桑島代表



故郷に灯す“復興の明かり”

チ ア タ ケ タ
Cheer! Taketa 「竹金箱」で復興を応援!



↑竹灯籠をベースにした募金箱「竹金箱」。故郷竹田への思いが込められている。

「7・12竹田大水害」発生以降、竹田の復興を応援することを目的として、首都圏に住む竹田出身の若者や、竹田市と連携して城下町再生に取り組んでいる東京大学大学院景観研究室・川添研究室のメンバーを中心に、「Cheer! Taketa」が結成されました。

今年の竹楽では、Cheer! Taketaのメンバーによって、災害復興応援屋台が出演され、売り上げの一部を市に寄附していたり、ただ、災害発生直後から取り組まれた募金活動によって集まったお金を、市立こども診療所への支援金として寄附するお申出をいただき、竹楽中である11月19日、災害復興のシンボルともなっているサンチャゴの鐘（レプリカ）の前で、Cheer! Taketa代表の桑島孝彦さんから竹田市長へ贈呈されました。

募金活動には、竹楽で使用される竹灯籠型の募金箱「竹金箱」を用い、東京の下北沢を中心とする商店街のお店等に設置の協力をいただき、支援が呼び掛けられました。故郷の秋にまた一つ「復興の明かり」が灯されました。

芸術文化の殿堂

竹田市文化会館復興を願う多くの激励に感謝

「竹田市文化会館復興寄附金」を受け付けます

平成24年7月12日に竹田市を襲った九州北部豪雨により、

竹田市の文化芸術の殿堂であった竹田市文化会館は壊滅的な被害を受け、未だ復旧の目途が立たない状態です。早期の復興を目指していく中に、

市内外から復興に対して多くの温かいご支援のお申し出をいただいております。10月30日開会の第2回臨時議会で、竹田市基金条例を改正し、新たに「文化会館等復興基金」を設置しました。文化会館復興に向けての寄附金は、すでに19件約235万円（11月24日時点）にも上っており、こうしたご好意をありがたく受け入れさせていただくために「竹田市文化会館復興寄附金」を広く募ることにしました。寄附金は、「文化会館等復興基金」に積み立てて竹田市文化会館の復興再生に関する事業に充当し早期の復興に向けて活用させていただきます。

■銀行振込の場合

大分銀行竹田支店（普通）

口座番号 5305819

口座名義 竹田市(タケタシ)

※振込手数料については、誠に恐れ入りますが、振込される方のご負担となることを御了承願います。

※銀行振込の場合、差し支えなければ、振込される方の名称と寄附金額を振込時にお知らせいただければ幸いです。

2 税法上の措置について

所得税法第78条第2項第1号の規定に基づく寄附金控除（2千円を超える分について）、地方税法第37条の2第1項第1号及び第314条の7第1項第1号の規定に基づく寄附金控除（2千円を超える分について）、法人税法第37条第3項第1号の規定に基

1 寄附金の受入について

寄附金の受入は窓口受入及

37条第3項第1号の規定に基

37条第3項第1号の規定に基

37条第3項第1号の規定に基

37条第3項第1号の規定に基

37条第3項第1号の規定に基

37条第3項第1号の規定に基

37条第3項第1号の規定に基

37条第3項第1号の規定に基

37条第3項第1号の規定に基

37条第3項第1号の規定に基

37条第3項第1号の規定に基

37条第3項第1号の規定に基

37条第3項第1号の規定に基

37条第3項第1号の規定に基

支援から始縁へ

できることをしよう！カボスで恩返しプロジェクト



→宮城県から「ありがとう」一緒に頑張ろう



↑岩手県から「カボスありがとう」

九州北部豪雨災害発生時に温かい支援の手を差し伸べていただいた東北の方々への恩返しと、竹田を元気にしたいという思いから、『できることをしよう！カボスで恩返しプロジェクト』大分県竹田市のカボスを

買って、東北の被災地へ届けよう！』が、東京で大分の魅力を発信しているNPO法人「大分人祭り」理事長・伊藤彩子さんの呼びかけで取り組まれました。

本プロジェクトでは、インターネットの交流サイトを通じて、1口1,000円からの支援金を集め、竹田のカボスを購入。購入されたカボスは、大船渡市、陸前高田市、南三陸町、石巻市、仙台市の5箇所の東日本大震災による被災地へと届けられました。カボスを受け取った東北のみなさんからは、「ありがとう」「一緒にがんばろう」といったお礼のメッセージが寄せられています。

復興への取り組み

災害義援金の配分について

7月の九州北部豪雨水害では、市内全域にわたり住宅被害、ライフライン及び農業施設等に甚大な被害が発生しました。

この災害につきまして、市内外から多くの物資や人的支援、さらに個人・団体から多額の義援金が竹田市へ寄せられました。

竹田市ではこの義援金の第1次配分として、8月の配分委員会でお亡くなりになった世帯や床上浸水以上の居宅被災者へ、173件約3千万円の配分をしたところです。

第2次配分では床上浸水以上の住居被害に追加配分、新たに店舗、工場等の非住家、さらに甚大な被害を受けた自治会への配分を行うことにしました。

今回の配分は、256件約4千5百万円となります。

配分については該当者へ通知し配分を行う予定です。

これまでの多くの方々からの物心両面に渡るご支援、ご協力に感謝申し上げます、お礼といたします。

竹田市災害義援金配分委員会
(義援金に関するお問い合わせ 竹田市会計課
☎ 63-4812)

* * * * *

「湧き上がってくる力」を復興のエネルギーに!

11月5日、大分市三佐出身の南聡先生(九州産業大学准教授 日展特選受賞他)が市役所を訪れ、災害からの復興と芸術・文化の振興を願って、絵画のご寄贈をいただきました。

作品は入田の湧水を題材にしたもので、「私も湧水から力をいただいたので、少しでも皆さんの励みになって欲しい。」と語ってくれました。

現在、市役所1階通路にてご覧いただけます。



↑入田の湧水群をイメージされた南先生の『湧』(わく)



↑水害直後の竹田市文化会館の舞台裏。グランドピアノも横転し、濁流の凄まじさを物語る。

づく損金として扱われます。なお、銀行振込により、寄附金専用口座へ送金いただいた場合は、控えとしてお手元に残る振込金受取書(受領書)の原本に、このお知らせ(ホームページの写しも可)を添付し、損金及び寄附金控除等を受けるための受領書(証明書)に代えることができます。必要な場合は、受領証明書

の発行も致しますのでお知らせください。
3 お問い合わせ先
■窓口受入の場合
総務課市長公室
〒878-8555
竹田市大字会々1650番地
☎ 0974(63)1111
FAX 0974(63)0995

■銀行振込の場合
竹田市教育委員会生涯学習課
〒878-0201
竹田市久住町大字久住6154番地
☎ 0974(76)0715
FAX 0974(76)0719
※詳しくは、竹田市公式ホームページをご覧ください。



有由有縁(ゆうゆうえん)

文豪川端康成が晩年、よく揮毫したのが『有由有縁』。人との出会いや物事との接点が生まれるのは、偶然ではなく、それなりの理由が働くからであるという意味。昭和27年、取材旅行を兼ね、友人高田力蔵の案内で竹田市を訪れ、竹田高校で講演した川端との縁は、まさに目には見えないけれど、神の配剤としか思えない。



←竹田の未来を担う子どもたちのために夢を描こう…(ソーラン節を披露する城原っ子〜第13回万葉の里城原紅葉祭り&敬老会より〜)

災害のあとだからこそ、各地区の個性を活かして夢を創ろう

福祉振興基金6億円で何に取り組みか

竹楽は好天に恵まれて全国から10万5千人が押し寄せた。

『岡藩城下町400年祭記念事業』は文化イベントの大切さを、あらためて私たちに教えてくれた。

城下町では、九州初の川端康成コレクション展が内外から高い評価を得てマスコミにも大きく取り上げられ、また市役所前広場で開催した『伝統芸能の集い』には多くの芸能ファンが魅了された。とりわけ、400年の時空を越えたサンチャゴの鐘のストーリーはレプリカ製造の話題とリンクして、これからの展開に大きな夢を授けてくれたのだった。

一方、くじゅう高原牛肉祭りも好天に恵まれて、かつてないほどのにぎわいを見せ、また荻町で開催された『トマト天国inおぎ』も大分県を代表するほどのイベントに成長した。

イベントに関して言えば、直入地区はふるさと振興祭が雨で流れたということもあり淋しさはぬぐえないが、ドイツとの文化交流事業は直入地区ならではのエネルギーを感じるし、観光によって外貨が獲得できる土壌は強いものがある。

大切なのは、民間のリーダーの育成や組織力の強化であるが、行政と地域が仲良く連携してきた経験が、「行政がおんぶにだっこ」状態にならないことである。行政が手を引くと、それが即地域の衰退につながる。行政が手を取ると、それが即地域の衰退につながる。

そういえば、対話行政に取り組んできた中で、旧竹田地区では、水書を受けた文化会館を一日も早く再生してほしいという声の日々高まっているし、図

書館建設や市街地のコミュニティホール建設に対する市民の期待は大きい。

荻地区にあつては、老朽化した支所を何とかしなければという危機感も強く、支所と自治会長組織などとの協議にも熱が入る。

こうしてみると、災害によって大幅に変更を余儀なくされる公共施設整備計画をどう調整するか。いままこそ、しっかりと『地域の声』を束ねてほしい。地域の課題を解消し、みんなで夢のあるまちづくりを議論してほしいと願う。

私は、みんなの声を政策に反映させることを基本にしてきた。対話行政の目指すところだ。それぞれの地域には、それぞれの課題もあるだろうが、その地域ならではの可能性、つまり夢を描けるはずである。

竹田市には、あまり知られていないようだが、合併時に創設した『福祉振興基金』がおよそ6億円ある。平成24年はあとわずか。災害を受けて意気消沈しそうないまこそ、新しい年に向けて夢を描こうではないか。

それぞれの地域が均衡ある発展のためにこの基金を活用するべきだと、私はそう思っているが、そのためにも地域が自立して議論を活性化してほしいのである。

そういえば、竹楽と合わせて行った『空飛ぶ200人プロジェクト』は快晴にも恵まれて、超一流の大パノラマを満喫できるものだった。「岡城があんなに素晴らしく、くじゅう連山があんなに雄大できれいなんて。あらためて竹田のすごさを自慢できます」と話してくれたご婦人の言葉が、頭から離れない。

東京大学との大学連携 エコミュージアム構想と 城下町再生に向けて

東京大学景観研究室(中井祐教授)及び川添研究室(川添善行講師)による竹田市研究が行われています。景観研究室は主に宮城・志土知地区で、川添研究室は城下町で活動しています。城下町では学生が10月から11月にかけて長期滞在し、提供いただいた商店街の一角の倉庫の壁面に大きな城下町の絵を描き、昔の城下町竹田の暮らし方を住民の皆様とヒアリングを重ね、「オーラルヒストリー」の実践を展開中です。ここを拠点に城下町の暮らし方の本質とは何かを研究し、将来の城下町のあり方に活かしていくことを目指しています。



住民ヒアリングの内容を壁面に貼りつけていく学生たち(竹田町)

電話応対はいつも明るく元気に！

電話応対コンクール大分県大会で優勝した

やまなか
山中 裕子 ゆうこ
(佐川急便竹田店 / 24歳)



↑コンクールでは「常に「普段どおりの自然な姿で、応対することに気をつけています」と話す山中さん

電話応対の技術を競う、日本電信電話ユーザ協会大分支部主催「電話応対コンクール」県大会が9月26日、大分市のトキハ会館で開かれました。事前審査を通過した25人が出場。コンクールは、琉球ガラス製造・販売会社にホームページを見た客からの問い合わせ

の電話があったという設定で行われました。制限時間3分の中で、丁寧で分かりやすく商品の魅力を紹介し、正しい敬語の使い方や話す速度などの基本技術のほか、企業アピール度が審査されました。

見事優勝に輝いたのは、荻町恵良原

出身の山中裕子さん。4年前に初出場。初優勝を飾りましたが、全国大会では本意な成績に終わりました。その後2回連続出場するもあと一步のところ、優勝に手が届かず悔し涙。しかし、課題発表後から毎日、会社の駐車場にとめた車の中で発声練習したり、同大会で準優勝に輝いた同僚の工藤由佳さん(佐川急便竹田店)とふたりで切磋琢磨し、こうした努力の積み重ねが、今回2度目の県大会制覇達成に繋がりました。

「お客様に不快感を与えないように、聞きやすい音声に気を配りながら、電話応対はいつも明るく元気に、を心掛けています」

来る12月7日、第51回全国大会は沖縄県で開催。山中さんは、「忙しい業務の中、参加させていただいておられます。ぜひ優勝して佐川急便を盛り上げたいです！」と、意気込みを語ってくれました。笑顔の見える電話応対で、全国大会での活躍を期待しています。

まぶしい笑顔の民謡姉妹が大活躍！ 後藤緋奈子・菜月さん

「平成24年度民謡民舞大分県連合大会」が10月7日、大分市・能楽堂で開催され、「球磨川舟唄」を唄った後藤緋奈子さん(大分東明高校1年・15歳)が青年の部で優勝し、来年10月に東京・両国国技館で開催される「全国大会」の出場権を獲得しました。

「初めて県の大会で優勝することができて、これまでご指導くださった先生に感謝の気持ちでいっぱいでした」と喜びを隠せない様子の緋奈子さん。来年の東京・国技館という大舞台に向けて、さらに努力を重ねていきたいと心に誓っています。

一方、妹の菜月(竹田南部中学3年・14歳)さんも、今年5月開催の「平成24年度民謡少年少女県体大会」中学生の部において、2連覇を達成。9月には「第16回球磨川舟唄全国大会」少年少女の部3位、「コトコツ節日本一大会」(日田市)少年少女の部優勝と、中学生最後の年を送りながら充実した成績を残しています。

背筋をピンと伸ばし、心を込めて唄う後藤姉妹。『竹田の文化の発展を担う人材』に育ってくれることを心から期待しています。



↑大活躍の後藤緋奈子さん・菜月さん(佐藤文民謡教室にて)



↑美しい「祈りの空間」。隠れキリシタン洞窟礼拝堂には多くの見物客が訪れていました



↑にぎわう街角コンサート

十六羅漢前→



晩秋の城下町を彩る幻想的な灯り たけた竹灯籠「竹楽」

11月16日から18日の3日間、竹田市街地でたけた竹灯籠「竹楽」が開催されました。

晩秋の城下町を彩る約2万本の竹灯籠の灯りが幻想的な世界を演出していました。

また、期間中は好天に恵まれ、町角コンサートや屋台村会場も賑わいをみせ、多くの観光客が竹田城下町にあふれていました。



↑完成を喜ぶ木原自治会のみなさん

この観音像は平安時代の前波式衣紋線により衣の装束を表

老朽化の著しかった城原地区木原の公民館の建直しと、カーブの多い狭い道の拡幅工事が完了し、11月18日、「木原公民館&市道木原線拡幅工事竣工の祝い」が新木原公民館で行われました。

経過報告では、新築のきつかけとなった『木造聖観音立像』を紹介。この観音像は平安時代の前波式衣紋線により衣の装束を表



↑『木造聖観音立像』

現した市内において極めて古いものとされ、平成21年9月21日「大分県指定有形文化財」に認定されました。慣れ親しんだ観音様をこれからも大事にししようと『思い』がひとつになり、安置するに相応しい館を建設するまでに至ったのです。地区のみなさんの温かい気持ちに観音様も喜んでくれることでしょう。

地域に愛される「観音様」とともに 木原公民館&市道木原線拡幅工事竣工の祝い



↑長い順番待ちの列ができたトマトリゾット&キノコと雑穀米リゾット

大盛況!トマト天国 in おぎ&荻ふるさと祭り

秋晴れの下、今年で7回目となる「トマト天国 in おぎ」、今年で33回目となる「荻ふるさと祭り」が荻福祉健康エリアグラウンドを中心に開催されました。

今年は「荻愛育保健推進協議会ジャンボかぼちゃ大会」や「竹田市伝統芸能の集い」、「深山流岩戸神楽交流大会」など様々なイベントが同時開催され、終日会場は多くの人出で賑わっていました。

会場には荻町で栽培されたトマトを使った料理などの出店も並んでおり、多くの人のお腹を豊潤な荻の恵みで満たしました。



↑「こりゃ大きいなあ!」ジャンボかぼちゃ大会



大地の魅力発見!竹田ジオシンポジウム開催

10月26日、「おおいた 竹田ジオシンポジウム」が竹田市本庁舎会議室で開催されました。「ジオパーク」についての説明や、天然記念物に指定された阿蘇火砕流堆積物を有する竹田市の今後の取り組みについて、積極的な意見交換が行われました。

草刈樵峰さんが県書道展で「書道大賞」受賞!

←書道大賞を受賞した作品『朝鮮の米について』(詩・真壁仁)



↑表彰式終了後、緊張感から解放されて笑顔になる草刈さん「これからも気負いをせず、思うがままに書いていきたい」。

10月28日、「第48回大分県美術展・書道展」会員の部表彰式が大分県立芸術会館講堂にて行われました。市内在住の書道家草刈樵峰(本名・草刈淳)(茶屋の辻・44歳)さんの『朝鮮の米について』(詩・真壁仁)が最高賞の書道大賞を受賞しました。

草刈さんは受賞者を代表して「さらに精進を重ねていきたい」と謝辞を述べました。また今回の受賞により、現在の無鑑査会員から委嘱会員に推薦されます。

常に書の世界に真摯に向き合う草刈さんは、「書道の文化的な良さが見え

にくい時代だと思う。詩文書も好きな歌手の『詞』や自分の創った作詩でも構わない。堅苦しく考えないで入れる分野だから、気軽に遊びながら書くことが大事。私は、もっと『書』を竹田で広めていきたい」と、今後の夢を語ってくれました。

なお、竹田市からは梶原江扇さんの『漢詩』がエフエム大分社長賞、鳥養恭雅さんの『惜春賦』が九重町長賞を受賞しました。

竹田・大野地域の巡回展は11月30日(金)から12月2日(日)までエイトピアおおの(豊後大野市)で開催中です。



↑本番さながらに車内に閉じ込められた人を救出する訓練風景

今こそ防災への心がけを!

11月6日、荻町福祉健康エリアにて平成24年度竹田市消防防災訓練が行われました。今年には地震による火災発生や崩落事故等を想定し、各機関の連携や消化・救出・避難誘導、車両救出訓練等が、緊張感の中取り組まれました。

災害を風化させず、普段からの意識を高めることが、「災害に強いまちづくり」へとつながっていきます。



祖母山のツキノワグマ現る!?

祖母山のツキノワグマ、「穴森社伝説」の大蛇!...現る!?(...いえ、案山子です) 神の里交流センター「緒環」にて地域のみなさんや大分大学の学生らが作った『案山子』が完成しました。神原の地域性がある力作が美しく色づく里山を背景に並んでいます。

11月10日、11日の両日、山口県周南市の周南総合スポーツセンターにて『第9回日本マスターズ柔道大会』が開催されました。今年も上島彬(88歳・川向)さんが81kg級に出場し、準優勝に輝きました。併せて、功労賞(最高齢者)も受賞しました。

上島さんは「健康に心がけて、来年も出場できるように頑張りたい」と語ってくれました。



マスターズ柔道 最高齢88歳の上島選手準V

第46回衆議院議員総選挙

第22回最高裁判所裁判官国民審査

一票に 明るい未来の「夢」かけて

日程

公示日

12月4日(火)

投票日時

12月16日(日)

午前7時～午後6時

開票日時

12月16日(日) 午後8時～

開票場所

竹田市総合社会福祉センター

今回の選挙は衆議院における私たちの代表者を選ぶ大切な機会です。

私たち一人ひとりの声を国政に反映させるため、必ず投票しましょう。

投票できる人は…

次のすべての条件を満たしていることが必要です。

- ① 年齢満20歳以上の人(平成4年12月17日までに生まれた人)
- ② 竹田市に引き続き3ヶ月以上住んでいる人(平成24年9月3日までに転入届けをした人)
- ③ 選挙人名簿に登録されている

人が転出の届出をしても、他の市町村に登録されるまでの間は竹田市で投票することができます。

入場整理券は…

- 選挙人一人一人に12月4日(火)に郵送します。
- 投票日当日に投票される人は、入場整理券に記載された投票所でない場合は投票することができません。
- 入場整理券をなくした場合は、投票所で再作成することができます。

投票時間・投票所は…

- 投票時間は、各投票所とも午前7時から午後6時までです。
- 投票場所は次のとおりです。(○の中の数字は投票所の番号です)

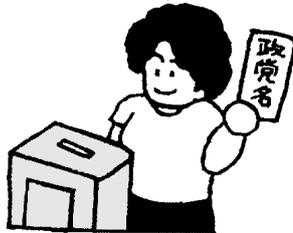
- ① 竹田市立竹田幼稚園
- ② 竹田市立岡本小学校体育館
- ③ 竹田市明治分館
- ④ 竹田市立豊岡小学校体育館
- ⑤ 竹田市城原地区館
- ⑥ 竹田市宮城分館
- ⑦ 竹田市立南部小学校体育館
- ⑧ 竹田市立竹田南部中学校体育館
- ⑨ 竹田市菅生分館

投票の方法

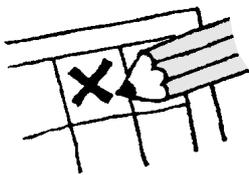


投票は3種類です。
投票① 衆議院小選挙区選出議員選挙の投票は、「候補者の氏名」を記入してください。

投票② 衆議院比例代表選出議員選挙の投票は、「政党名」を記入してください。



投票③ 最高裁判所裁判官国民審査の投票は、やめさせた方がよいと思う裁判官に「×のしるし」を記載してください。



投票の方法…

- ⑩ 竹田市入田分館
 - ⑪ 竹田市姫岳分館
 - ⑫ 竹田市宮砥分館体育館
 - ⑬ 片ヶ瀬集会所
 - ⑭ 竹田市荻公民館
 - ⑮ 竹田市柏原公民館
 - ⑯ 竹田市久住支所1階ホール
 - ⑰ 竹田市白丹公民館
 - ⑱ 竹田市都野公民館
 - ⑲ 竹田市直入支所大会議室
 - ⑳ 旧下竹田小学校体育館
- 宮城地区の方は宮城分館
玉来地区の方は南部小学校体育館

松本地区の方は竹田南部中学校体育館
入田地区の方は入田分館及び久住地区の方は久住支所1階ホールに投票所が変更になりました。ご注意ください。

○投票用紙は、小選挙区選出議員選挙、比例代表選出議員選挙、最高裁判所裁判官国民審査の3種類です。

○投票の順序は最初に小選挙区選出議員選挙の投票を行い、続いて比例代表選出議員選挙と最高裁判所裁判官国民審査の投票を行います。

○小選挙区選出議員選挙は候補者の氏名を書いて投票します。

比例代表選出議員選挙は政党等の名称を書いて投票します。

最高裁判所裁判官国民審査は、辞めさせた方がよい裁判官に×印をつけて投票します。辞めさせた方がよい裁判官がない場合は何も記入せず投票します。

期日前投票は…

投票日当日に、仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由により、どうしても投票所に行けない人は、公示日の翌日から期日前投票をすることが出来ます。

※入場整理券が届いている場合は期日前投票の際にご持参ください。

期日前投票ができる期間
・衆議院小選挙区選出議員・比

例代表選出議員選挙

竹田市役所3階会議室では12月5日(水)から12月15日(土)まで
・最高裁判所裁判官国民審査
12月9日(日)から12月15日(土)まで

・荻支所1階会議室・久住支所1階ホール・直入支所大会議室については、最高裁判所裁判官国民審査の期日前投票が始まる12月9日(日)から12月15日(土)まで
各投票所の投票時間は午前8時30分から午後8時です。

・支所については、投票期間が異なります。確認のうえ、注意をしてください。
・期日前投票は、期間内どこの投票所でも投票することができます。

不在者投票は…

・不在者投票ができる期間
12月5日(水)から12月15日(土)まで
1 指定病院等で不在者投票をする場合は

不在者投票の請求は公示日前でもできますから、病院、老人ホーム等の事務担当者に早めに申出てください。投票手続きは病院等がすべてして

いただけます。

2 滞在先の選挙管理委員会に不在者投票をする場合は

不在者投票の請求は公示日前でもできますから早めの竹田市選挙管理委員会に請求してください。

3 郵便等投票は

郵便等による不在者投票をする人は、事前に郵便等投票証明書の交付を受ける必要がありますので早めに申請してください。

郵便等による不在者投票をすることができる人は、身体障害者手帳の交付を受けている人の内、両下肢に一定以上の障がいを持たれている人や、介護保険の被保険者証に要介護状態区分が5である者として記載がされている人などです。

●投票等に関しご不明な点は、竹田市選挙管理委員会にお問い合わせください。

〔平日〕 ☎63-1111
〔時間外〕 (内線360-330) ☎63-4814

12月3日～9日は「障害者週間」です

互いに認め、支え合う社会に



↑ばんぶきんでトマトジュースを作る作業中の佐藤充恵さん

障がいのある方に対する理解と関心を深め、障がいのある方の社会参加への意欲を高めることを目的として、毎年12月3日から12月9日までの1週間を「障害者週間」とすることを定めています。

障がい者またはその家族の方たちの声を聞くことで理解を深め、すべての人が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を実現するにはどうしたらよいか、みんなで考えていくことが大切です。

また、竹田市では障がい者の方のためのさまざまなサービスを実施しています。ぜひ、この機会に障がい者問題などについて関心を持ち、何ができるかみんなで一緒に考えていきましょう。



※佐藤さんは、12月6日「障害者週間」福祉大会豊肥地区大会(エイトピアおおの)で体験発表を行います。

「かぼちゃの国」入ってからのできごと」

佐藤 充恵

私は6年前にかぼちゃの国に入りました。入った頃は私にできることがあるか不安でしたが、いろんなことにチャレンジしていこうと思えました。

私が最初に入った作業班は室内班でした。そこで、紙漉きのハガキやカレンダーを作りました。最初の頃は紙の端を真っ直ぐに漉くことが難しかったです。スタツフとたくさん練習していくうちに、きれいにできるようになって良かったです。

商品開発では、自分の考えた商品を作ったりもしました。私はシユシユを作りました。布に線を引き作業がなかなかうまくいかなかったけど、定規を使って紙に線を引き練習をしていくうちに、真っ直ぐ引けるようになってうれしかったです。

1年前にしいたげ班にうつって、しいたげの菌床を大分の野津原まで取りに行ったりしています。降ろしたり運んだりするのが大変です。農産加工の仕事もあって、トマトピューレを作ったり、栗の皮をむいて渋皮煮を作ったりします。トマトのへたを包丁で切る作業が楽しいです。

かぼちゃの国の全体行事も年に何回かあり、いろんなことをします。特に私が好きな事が旅行で、今まで行ったことがない所に行けるので楽しみにしています。

私はこれからもばんぶきんで皆と働きたいです。

障がい者用駐車場を あけてください!

スーパーなどで身体障がい者用の駐車スペースを見たことがありますか?

お店の出入り口に近く便利なため、一般の方が駐車しているのを見かけます。

駐車場は、障がい者が降りやすいように広めに規格されていたり、車いすを降ろすスペースを斜線で表示しています。一般の駐車スペースでは車いすを降ろすことができません。

「少しのやさしさと気遣いで障がい者も住みよい街になれば、心からの願いです。」



↑身体障がい者用駐車場



大分県では、年齢や障がいの有無等に関わらず、誰もが安心して生活ができるよう、ユニバーサルデザインによる社会づくりに取り組んでいます。その取組の一つとして、車いすを使用している方や歩行が困難な方などが安心して外出できるようにするため、車いすマーク駐車場の適正な利用を推進する「大分あったか・はーと駐車場利用証制度」を平成23年12月20日から開始しました。



↑アイロンビーズを作っています

『虹色サマースクール』は夏休み中、障がいのある子ども達と遊んだり勉強したりして、楽しく過ごしてもらおうための事業です。今年7月30日から8月24日までの15日間、豊後大野市の2か所の施設で行われ、多くのボランティアに参加していただきました。

精神障がいに関する周囲の正しい理解や行動を促し、精神障がいに関する普及啓発を図るため、地域において精神障がい者と地域住民の交流する機会として、年3回精神障がい者地域交流会を開催しています。

その一環として10月4日、「竹田町商店街ウォークラリー」が、商店街22店舗の協力で行われま



精神障がい者地域交流会

した。参加者は啓発のチラシを配布し、店員とジャンケンをして、交流を楽しんでいました。

障がい児を持つ親の会「ひだまりの会」

ひだまりの会は平成9年に障がいをもつ子どもとその保護者で結成された会です。

誰もが安心して暮らしやすい地域づくりを目指して活動しています。

子どもたちの幸せな未来を願って、保護者や周りの人が手をつないで、共に悩んだり、学習したりしています。



↑虹色サマースクールでプール

応援します! 障がい者の暮らし

お気軽にご相談下さい。市の委託事業所ですので料金は無料です。



障害者生活支援センター
竹田市大字三宅 1763-1
☎ 63-9600 FAX 64-0101
社会福祉士：近藤幸二

サポートセンターサライ

豊後大野市三重町秋葉 241
☎ 0974-22-1041 FAX 0974-22-2377
社会福祉士：成瀬吉要
相談支援専門員：本田博之



心の相談支援事業所

竹田市大字竹田 1855
☎ 63-3346 FAX 63-2339
精神保健福祉士：神品實子・吉田真由美・三浦正博

障害者自立支援法による支援 障がい福祉サービス (一部)

サービスの種類	内 容
居宅介護	自宅で入浴や排せつ、食事等の介助をします。
生活介護	常に介護が必要な人に、昼間、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供します。
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行います。
就労移行支援	就労を希望する人に、一定期間、生産活動等の機会の提供、就労に必要な知識や能力向上のための訓練を行います。
就労継続支援	一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供するとともに、知識や能力の向上のために必要な訓練を行います。
短期入所	自宅で介護する人が病気等の場合に、短期間、施設に入所できます。
共同生活援助	共同生活を行う住居を提供し、相談や日常生活上の援助を行います。
施設入所支援	施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ食事の介護を行います。

上記のほか、障がい児への支援として、児童発達支援や放課後等デイサービス、保育所等訪問支援の事業や、市の事業として、福祉サービス利用の相談や情報提供を行う相談支援事業、手話通訳派遣事業、移動支援事業、日常生活用具給付事業等を行っています。また、障害者手帳をお持ちの方には、税控除や各種減免、助成等もあります。いずれも、障がいの種類や程度によって利用できない場合や、利用者負担がある場合がありますので、お問い合わせください。

●お問い合わせ 竹田市福祉事務所 ☎ 63-4811

開催決定！災害を乗り越えて、記憶に残る大会へ

岡の里名水マラソン大会参加者募集

日時 平成25年3月3日(日)

※雨天決行

会場 竹田市総合運動公園(受付・開会式・スタート・フィニッシュ)

日程 「受付」午前8時～9時30分

〔開会式〕9時～

〔スタート〕10時～(フルマラソン)

※参加申し込み人数により他の種目は随時スタート

参加料 フルマラソン4000円、ハーフマラソン10km(一般)3000円・(高校生以下)1000円、史跡めぐりウォーク・ノルディックウォーキング1500円

申込方法

①申込用紙(払込取扱票)に必要事項



を記入し、参加料を添えて最寄りの郵便局にて申し込むこと。

②インターネット(ランテス・スポーツエントリ)からの申し込み可。

③参加者は前もって医師の診断を受け健康状態を確認の上、申し込むこと。

④大会当日(前日)の受付はいかなる理由があっても受け付けない。

⑤参加申込後の種目変更及び取り消しについて、参加料の払戻はしない。

申込締切

平成25年1月15日(火) ※払込印有効

インターネット(ランテス・スポーツエントリ)による申込:平成25年1月23日(木)

※定員のある種目は、定員に達した段階で申込みを締め切りますのでご注意ください。

定員

フルマラソン900名、ハーフマラソン600名

●お申込み・お問い合わせ

〒878-0201

竹田市久住町大字久住6154

竹田市生涯学習課内 岡の里名水マラソン大会事務局

☎76-0715 FAX76-0719

〔ホームページ〕

<http://www.city.taketa.ora.jp/marason/>

Bad Krozingen

姉妹都市 ドイツバート・クロツインゲンコーナー

クラウディア・ケール
A コラム by claudia kehl
(国際交流員)

70年代の中旬から市の決算が呈示され、市役所と図書館で閲覧ができる。数値は40年間に渡って公開されているので、市の発展について詳しく知ることができる。

合併の後、人口は1974年から今日まで8千人増え、2012年に1万7千6百人に達した。特に80年代の後半に人口増加があり、500人〜6000人増加した年もあった。例えば1989年〜1990年に人口が5%増加した。現在では毎年1%〜1.5%の増加率だ。

バート・クロツインゲン市の設備財産が1710万ユーロ(約17億円)から8650万ユーロ(約88億円)と5倍を上回った。それは学校、幼稚園、スポーツ場などのために多く投資が行われたという証明になる。

市の借金は700万ユーロ(約7億1652万円)であり、それは一人あたり375ユーロ(約4万円)になる。バーデン・ヴュルテンベルク州の平均と比べたらかなり低いとメロート市長が述べている。物件費(物品の購入に

ドイツ姉妹都市からのニュース:メロート市長がバート・クロツインゲン市の決算について語る



↑メロート バート・クロツインゲン市長

必要な費用)は290万ユーロ(約2億9680万円)から1830万ユーロ(約18億円)と6倍ほどに上がった。人件費は全体の会計のうち24%から18%に減少し、現在では620万ユーロ(約6億3000万円)である。同じ規模の町と比べると、200万ユーロ(約2億円)くらい少ない。

40年間に渡り、財政政策として、学校と幼稚園に投資してきており、「子供と若者は未来を担う将来の大人であり、彼らは出費上、優先したいです。」とメロート市長が述べている。主に維持・管理者・装置のためにお金が使われている。それと共に、町村のコミュニティーの活動を促進するため、町の様々な公民館に多くの金額を投資してきた。

その上、ガス・電気・水道などの管理・供給にあたる市営企業も設立することができ、毎年30万ユーロ(約3千万円)の純利益が出ている。それは会計の資金調達のために大きく寄与している。

竹田雑感 #35
～調査研究を通してみた竹田～街並みのぬくもりに引き寄せられるように、人が人を呼び、
竹田の街並みがより豊かに色づいているのだと思う。

東京大学川添研究室 特任助教 原 裕介 YUSUKE HARA



「あなた！また来てたのっ」と地元のおばちゃんから声を掛けられた人生初めての竹田訪問から早一年が経過した。

どうやら私が所属する研究室の長である川添と私を間違えて声を掛けてくれたようだが、その快活な勘違いのおかげで私にとつての竹田の街並みはとたんに身近な風景に感じられた。それは秋の穏やかな気候のせいだったのか、街並みを取り囲む山々のおかげなのか、理由はともかくその言葉に暖かく包まれた安心感を覚え、慣れ親しんだ場所へ帰ってきた時の心の余裕に近いものを感じさせてくれたことを今でも記憶している。

どうやらこの感覚を抱くのは私だけではなさそうである。ひとたび竹田を訪問した学生は、十中八九の確率で竹田に故郷のような感情を抱いて帰ってくる。そして日に一度は竹田の話で盛り上がり、「竹田の〇〇さんは…」とまるで親戚のおじさんの話をしているかのように、楽しそうに皆と談笑をしながら様子を研究室内で良く見かける。何がそうさせるのかは言語化できないけれど、竹田の人々が、来街者をとりにしていることは統計的にも間違いはなさそうである。

個人的には、街並みとは単なる建築物の連なりを示すのではなく、そこで生活する人々までを含めた情景を示した言葉だと考えている。竹田の趣のある城下町の風景が溫柔敦厚な人々によつて彩られ、その街並みは不思議なぬくもりを帯びているように感じられる。そしてそのぬくもりに引き寄せられるように人が人を呼び、竹田の街並みがより豊かに色づいているのだと思う。

7月の災害により浸水や家屋の損壊など多くの物理的被害をもたらしたことをとても悲しく思う。しかし竹田を彩る人の存在は変わらない、むしろ竹田のために何かできることをしたいと思う有志が東京でも活動をはじめ、あのぬくもりを離れていても感じられるようになった気がしている。

近いうちに本場の竹田のぬくもりを感じに、またお邪魔したいと思います。



厚生労働省パッケージ事業 あなたが開ける チャンスの扉!

～コミュニティインストラクターの育成と実践～

市民向け公開セミナー(健康づくり分野) 12月15日(土) 13:30～開催!

新たな仕組みと人材育成による新分野での雇用創出を旨とし、竹田市経済活性化促進協議会では健康づくり、地域福祉・介護、環境エネルギーの分野において、担い手となる「健康運動インストラクター」や「暮らしのサポーター」の養成を目的とした養成セミナーを開催しています。協議会では、その一端を市民向け公開セミナーとして開催します。

また、本年9月に健康づくりのインストラクター養成セミナーの受講者からなる「竹田ヘルスフィットネス」が結成されました。地域に根ざした健康づくりの指導者グループ：コミュニティインストラクターとして、「暮らしのサポートセンター久住」を拠点として活動が始まりました。それらの活動報告やパッケージ事業の今後の展開も含め、ワークショップの方法を取り入れながら公開型のセミナーとして開催するものです。皆さんの意見を反映していきます。多くの市民のご参加をお待ちしております。

★市民向け公開セミナー

テーマ 「竹田だからできる!

市民が主役の健康づくりとその実践」

日 時 12月15日(土) 13:30～16:00

(講演 大分県地域成人病検診センター健康教育増進部次長 松元義人氏)

場 所 竹田市総合社会福祉センター



新規セミナー開催のご案内(健康づくり分野、地域福祉分野)

平成25年1月から3月にかけて、健康づくり分野並びに地域福祉分野において、基礎編となる新規のセミナーを開催します。詳しくは活性化協議会ホームページ <http://taketa-ikiiki.org> をご覧ください。

竹田市経済活性化促進協議会 ☎ 62-2122

入田と言えば、まずは「名水」というイメージをお持ちであろうと思う。ところが、その入田には実に多くのキリシタン信仰の跡が残っているという意外な側面がある。そこで今回は、牧にあるキリシタン集団墓地と、元庄屋さんの自宅にあるミステリアスな物からご紹介したい。この墓地そのものは、既に以前から研究者の間で知られていたのだが、その中で特筆すべきことが二つある。

一つ目は、数十基ある墓石のうちの多くの墓石に明瞭な十字やT字(写真⑥参照)が彫られていることである。これまでに相当な数のキリシタン墓を見てきたが、この墓地のように多くの十字を目にしたことはない。二つ目は、この墓地の中心にある墓石である。(写真③参照)二段の台座の上にかまぼこ型の墓石が載せられているが、その寸法は台座部分を含めて高さ1m、最上部墓石の幅

56cmという、この型の墓石としては非常に大きい。リーダーの墓であったかもしれない。この土地は、前述の元庄屋さんの所有地であるため、ご先祖かもしれないが、ご本人に聞いてみても誰の墓石なのか真相は不明である。

次に、この元庄屋さんのご自宅で発見した物について。家の中に、江戸期から明治に至るまで住んでいた古い屋敷の瓦が飾られているが、(写真①参照)前面にアルファベットでSA T Oと浮き彫りにされている。江戸時代にアルファベットを使用していたことに驚いたが、よく見るとtの文字だけがなぜか小文字になっている。なぜ、tだけが小文字なのか。これは推測だが、キリシタンが信仰に使用した隠し文字、例えば、菊、青、辻などのように漢字の中に十字を忍ばせて信仰する手法のアルファベット版なのではないか。それから考えると、小文字のtの場合は十字に見える。しかし、誰が当時の家人にアルファベットを教示したのか。ここにも南蛮人宣教師が来ていたのだろうか。かなりミステリアスな話である。

次に、近くにあるもう一つの集団墓地を訪ねた。これも入田の代表的な集団墓地の一つである。残念ながら、墓石が本来の位置からかなり移動されているが、写真④のように切妻型の墓石が、ほとんど風化していない状態で残っている。切妻型は数少ないのだが、ここまできれいな状態で残っている物は極めて珍しい。この後に案内していただいた方のご自宅に寄ると、家の入り口に岩を掘ってお地蔵様が納められていた。ところがよく見ると、この地蔵は首からペンダントのように十字架を提げていた。聞いたところ、昔からある地蔵だが、今までまったく気づかなかったと言う。きっと、この近所のキリシタンは、お地蔵様を拜むふりをして、実は十字架を拜んだのではないか。お地蔵様に向かって手を合わせ、「アーメン」とささやく信者の姿を想像すると、ミステリアスな気持ちに包まれる。

この他にも、土地造成現場から掘り上げた石に十字が彫られていたり、石の祠の扉に十字が大きく浮き彫りにされていたり(写真⑤)、耳が無く手をオメガ状に組んだキリシタン異相地蔵(写真②)があつたりと枚挙にいとまがない。残念ながら紙面の都合上、すべてをご紹介することはできないが、入田とはそんなミステリアスなところなのだ。深く調査を進めれば、まだいくらかも出てくるだろう。

この連載では、これまでにミステリアスなものをご紹介してきた。それは取りも直さず、今に残されたキリシタンの足跡を各地域で「むらおこし」に役立てることができているのではないだろうかとの期待感を込めたことである。その点において、入田では既にその動きが少しずつ起りつつある。見事に整備された入田のキリシタン墓地を訪れる観光客の姿が見られるのもそう遠くはないかもしれない。

入田に数多く残るキリシタン信仰の足跡

ミステリアス! 竹田キリシタン⑤ 「入田編」

名水の里「入田」。その入田には、かつて多くのキリシタンがいた。今も残る複数の大規模キリシタン集団墓地や異相地蔵など、「キリシタンの里」と言ってもいいほど信仰の足跡が無数に残っている。

①元庄屋さん宅内にある瓦。
SAtoの文字が浮き彫りに。

①



③キリシタン集団墓地の中心にある巨大な墓石。

③



②異相地蔵。普通の地蔵には見えない。耳が無く手がオメガ状に。(オメガはキリスト教において聖なる文字)

②



⑤



⑤扉に十字が浮き彫りにされている石の祠

④



④キリシタン集団墓地にある切妻型の墓石。

⑥



⑥ひし形や十字が彫られた四角の墓石

〔制作・竹田市総合まちづくりセンター〕



体育学習を通して「自主」「協力」を育む

今月の学び舎 竹田市立白丹小学校

本校は、全校児童42名、2・3年生と4・5年生複式の4学級の学校です。

白丹小と言えば「体育」と言われるくらい体育の研究を継続・実践し、今年で41年目を迎えています。今年度は「子どもが生き生きと取り組む体育活動」を研究テーマに、器械運動を中心に取り組んでいます。10月12日に行われた体育研究発表会には県下各地から沢山の先生方が参加していただきました。先生方からは「子どもたちの技や体育授業に真剣に取り組む姿に感動した。」という感想をた



↑チャレンジ大会 (マット運動)



↑チャレンジ大会 (跳箱運動)

くさん頂きました。

器械運動の発表の場として、チャレンジ大会があり、春は「マツト運動」秋は「跳箱運動・鉄棒運動」を発表しています。保護者・地域の方々そして白丹保育所の園児が大勢見学に来るの子どもたちは、中休み・昼休みを利用して高い技の挑戦に主体的に取り組めます。

本校の子どもたちは、興味・関心が強く、目標に向かって練習すること、上達する喜びを見出しています。また、助け合い、学び合いながら学習することの大切さもこの体育学習で学んで

います。この体育学習で培ってきた力は他教科や学習全般にわたって好影響をもたらしています。

特に、

- ・ 学習課題に粘り強く取り組む
 - ・ 学習の決まりを守る
 - ・ 友達と協力する
- といった姿になって表れています。

このような背景には、保護者の方・地域の方の教育への関心の高さや学校への惜しみない協力があります。

年2回の草刈・剪定をしてくださっている「松葉会」の方、運動会で「竹田おどり」の指導をして下さっている「一輪草の会」の方などたくさんご支援・ご協力を頂いています。また、今年度の運動会では、地域の方の種目も取り入れ、盛大に行われました。

白丹小学校は地域・保護者の方から温かい目で見守られながら育まれている学校です。

(甲斐明正)

まろびつと博物館

(86)

終戦直後の旧柏原村刷新運動

翁は元直入郡柏原村大字柏原字宮平3653番地、建築業後藤勇の長男として大正元年11月28日生れる。幼少の頃より心身共に強健にして、頭脳明晰、クラスで群を抜く。小学校卒業するや単身上京、都立中野中学校入学、昭和5年3月同校卒業、同16年旧陸軍經理学校卒業、身を軍籍に置く。昭和18年比島レイテ沖戦に中堅將校として参戦するも昭和20年8月15日敗戦、故郷に帰還。

山々は青きなれど、人々の顔は活気無く、闇買いか放浪の身、税務署、警察との毎日闘争ばかり。村政も無策の状態。翁は村及び国家再建を志す人の結集を呼びかける。同志工藤一熊、後藤学、後藤磨、阿南結城各氏等多数集る。各行政官庁に対する要望事項、各種研修会、特に考えたのが農業の改革。旧来農法から新



↑後藤正翁

ただし 後藤 正 16代柏原村長

農法への切り替。品種の変更。個人経営から法人化、会社式経営への切り替え、つまり品番、品種の検討等現在の(株)丸福式であります。戦後直後提案した改革の芽は段々と大きく成長してゆく。

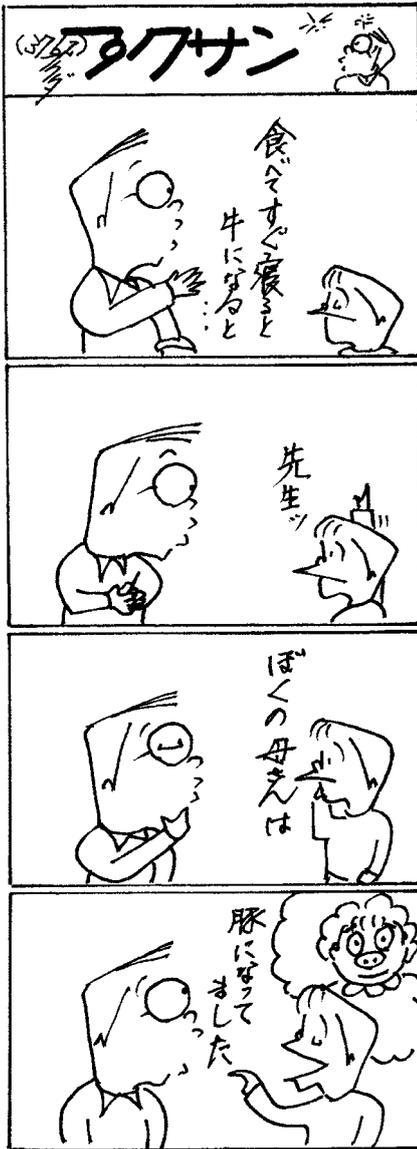
又一方で昭和26年柏原村では国鉄防備林払下げで不正有り、リコール選、立候補7人。決戦の結果後藤正翁当選。陽目林道、村宮簡易水道の完成。昭和30年5月1日萩村との合併への大役を果す。

翁は合併後萩町2代町長選に立候補。昭和36年7月2日当選。早速桜町の舗装、集乳所、特産農協と本農協との合併、町両地区に保育所開設、産開橋の架橋、母子センター開所、商工会発足、広範囲に及ぶ。

翁が若かりし頃憂国、憂町の志を抱いて同志会を結成。その努力が効果を奏して県下で優秀な農村となりました。深く敬意を表します。

後藤 正(ごとう ただし)
号祖母尾(櫛ヘルル取締役 正二位 勲五等功六級金鶏勲章/自力常願 他力本願)ゴルフ・俳句・水彩/剣道 2段・柔道2段/時事評論を好み福沢諭吉・新藤兼人を尊敬する

(佐藤 茂)



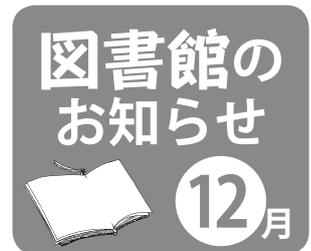
新刊のご案内

【一般の本】

- ・赤い高粱 (岩波書店) 莫言
- ・不忘の記—父河井寛次郎と縁の人々— (青幻社) 河井須也子
- ・村山富市回顧録 (岩波書店) 村山 富市
- ・ごぼう力 (主婦と生活社) 南雲 吉則
- ・拉致と決断 (新潮社) 蓮池 薫
- ・小林かいちの魅力 京都アールデコの発見 (清流出版) 山田 俊幸
- ・家のまわりを美しく整える本—DIYでスッキリ!きれい!— (主婦と生活社)
- ・中国 56 民族手帖 (マガジンハウス) 松岡 格文
- ・一葉のきもの (河出書房新社) 近藤 富枝
- ・ちょっと早めの老い支度 (オレンジページ) 岸本 葉子

【子どもの本】

- ・まるごとクリスマススペシャル (かもがわ出版) コダシマ アコ
 - ・てんやわんや名探偵 (偕成社) 杉山 亮
 - ・月の満ちかけ絵本 (あすなる書房) 大枝 史郎
 - ・いちじくにんじん (0.1.2えほん) (福音館書店) ぞんもり なつこ
 - ・とくんとくん (福音館書店) 片山 健
- 他 50 冊ほど入りました。



- 竹田市立図書館
TEL・FAX63-1048
- 荻図書室 (荻みらい館内)
TEL・FAX68-2200
- 久住図書室
TEL76-0717・FAX76-0724
- 直入図書室
TEL75-2240・FAX75-2231

12 月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

※カレンダー中の白抜きの日が休館日です。

クリスマスキャロルのご案内

12月24日(月) 13:00～

竹田市総合社会福祉センター

かみしばいやペープサート、ストーリーテリングなど楽しい催しがたくさんあるよー！サンタクロースさんからのプレゼントもお楽しみに!! みんな来てくださいね。



大人の本

「犬とハモニカ」

(江國香織/新潮社)



空港の国際線到着ロビーを舞台に、渦のように生まれるドラマを軽やかな文章で彩る表題作をはじめ、美しく懐かしく色濃い時間を鮮やかに描く珠玉の短編集。第38回川端康成文学賞受賞作品です。濃密でみずみずしい六つの贈り物をどうぞ。

司書のおすすめ

子どもの本

「きょうのごはん」

(加藤休ミ/偕成社)

ゆうがたになると、どのいえからもいいにおいがしてくるよ。こっちのおうちのごはんはなにかな? カレーライス、コロッケ、お寿司…。おいしいそうなおはんが次々出てくる絵本ですよ!



誕生おめでとう

10 月生まれ (親・自治会)

今月の読み聞かせ

- ブックスタート 12月12日(水) 14:00～ (竹田市総合社会福祉センター)
- おはなしルーム 12月13日(木) 14:00～14:30 (南部幼稚園)
- おはなしルーム 12月19日(水) 13:20～14:00 (竹田幼稚園えほんのへや)
- おはなしのへや 毎週火曜日 10:30～11:00 (竹田市立図書館えほんのへや)

保健
だより

健康一直線

竹田市は予防医学を推進しています

ワクチンで守れる命がある

年末を控え、慌しさが増し、寒さも一段と厳しくなると気になるのは街角の看板…。「ちよいと一杯のつもり」が、ついつい「はしご酒」になってしまうことはありませんか。また、受験生にとって、この季節はまさに正念場となります。

一方、空気が乾燥するこの時期は、インフルエンザを始め感染症が流行する時期でもあります。働き過ぎや睡眠不足などで、体調が思わしくなくときには、感染症のリスクが高まります。毎日きちんと食事をして、適度な運動を行なって、たまにはゆっくりとお風呂に入るなど、病気から自分の体を守りましょう。

インフルエンザから身を守る！

インフルエンザワクチンは、接種すればインフルエンザに絶対にかからない、というものではありませんが、一定程度の発病を阻止する効果があり、たとえばかっても症状が重くなることを防いでくれます。65歳以上の方は法律に基づく予防接種として位置づけられており、市が一定額を負担しています。

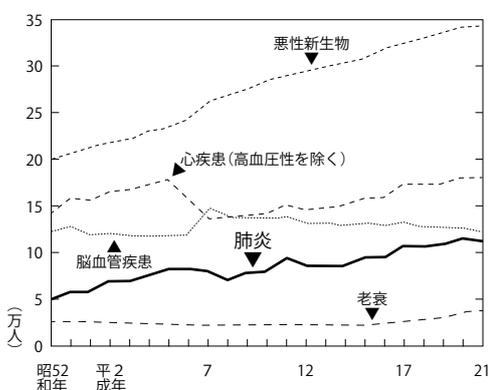
また、各健康保険が接種費用を助成するケースも多くありますので、これらを利用してインフルエンザの流行から身を

守りましょう。

肺炎から命を守る！

高齢社会を迎えた日本では肺炎で亡くなる方が増え、死因の第3位となっています。竹田市でも昨年63人の方が肺炎で亡くなっています。年を重ね、からの免疫力や病気への抵抗力が落ちていくと、最終的に肺炎が命を落としてしまう要因となるからです。大女優 森光子さんが肺炎で亡くなられたことは記憶に新しいのではないのでしょうか。

主要死因別死亡率



竹田市では独自事業として高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種を行っています。このワクチンで全ての肺炎の発症を予防できるわけではありませんが、非常

に効果が高いとされています。

対象：接種日時点で75歳以上の方で、これまでに未接種の方

条件：生涯に1度きりの助成

助成金額：3000円（4000円程度
の自己負担）

※市外の医療機関で接種する場合は、事前に竹田市健康増進課にお問い合わせください。

子どもの命は保護者が守る！

本市では、子どもの予防接種も非常に充実していますが、接種できる期間に限られています。再度母子手帳を確認するなど、保護者の責任でしっかりと子どもの命を守ってあげてください。

何かと忙しい年明けの前に、早めの接種をお願いします。

☆平成25年3月までに受けたい予防接種

＊麻疹風しん

〔対象〕 1～2歳、就学前1年間、中学1年生、高校3年生

＊ヒブ・肺炎球菌

〔対象〕 3月までに5歳になる方

＊子宮頸がん予防ワクチン

〔対象〕 高校1年生

※予防接種の詳しい対象は健康増進課までお問い合わせください。

●お問い合わせ 竹田市健康増進課

☎63-4810

寒さに負けない食べ方

食べものの性質を利用して、風邪の予防に役立てましょう。

- 抵抗力をつける＝良質のたんぱく質（肉・魚・卵・大豆製品等）
- 身体を温める（根菜類、生姜、唐辛子等）
- 血液サラサラ（ネギ、にんにく、納豆等）
- 粘膜を保護＝ビタミンA、ビタミンC（緑黄色野菜、海藻類、果物等）

～みんなで“あいうべ体操”を～

朝起きて喉が痛いというときには口呼吸になっている場合があります。鼻呼吸になるよう“あいうべ体操”等試してみるといいですよ！

～冬季に多いノロウイルスに注意～

特に貝類（主に二枚貝）を生あるいは加熱不十分で食べないように注意しましょう。二次感染もしやすいので、便や吐物の処理にも注意が必要です。抵抗力の弱い子どもやお年寄りには特に注意！

人間本来の声呼吸で免疫力アップ

あいうべ体操

口と鼻は病気の入口

- あ 口を大きく「あ～い～う～べ～」と動かします
●できるだけ大きめに、声は少なくてOK!
- い ●1セット4秒前後のゆっくりとした動作で!
- う ●一回30セット(3分間)を目標にスタート!
- べ ●あごに痛みのある場合は、「い～う～」でもOK!

お風呂で、トイレで、通勤途中に、いつでもどこでも思い出したらやってください。



苦悩に立ち向かった譜代出身の藩主

八代藩主・中川久貞(一)

なかがわひささだ

寛保3年(1743)七代藩主久慶が急死のため嫡養子となった久貞は、享保9年(1724)三河国(現・愛知県豊橋市)吉田城にて松平信祝(のりむね)の次男として誕生しました。妻は、中川久豊(四代藩主久恒の弟)の家督を継いだ久虎の娘である琢姫(後に久という)でした。享保年間からの困窮状態が続いている中、御年20歳で岡藩主となった久貞に追い討ちを掛けたのが、水害、地震、火災でした。「中川氏御年譜」には、岡大風雨による洪水が延享2年(1745)から明和6年(1769)まで15年間で6回被災したと記されています。さらに、長雨や冷夏が続き不作に見舞われ、藩経済は危機的状態になっていました。さらに、明和2年(1765)11月22日の火災、明和6年(1769)7月28日の大地震、明和8年(1771)1月17日の火災は、想像を絶する災害となりました。



↑ 8代藩主・中川久貞

明和6年の大地震では、主な被害のうち城内で、三階櫓(天守に相当)を含む城内9箇所(延長約770m)大破、城外では、侍屋敷509軒が崩れ、破損した家が1573軒、死者4人と記されています。当時13歳であった古田広計は、「城外郭の練塀は残らず揺れ崩れ、本丸水の手石垣が崩れ落ち番人が即死した。二の丸弓櫓など河内谷に崩れ落ちる音が物凄く、雨だったが土煙が真黒に見えた。」と記述しています。その後も雨が降り続き、被害が増大しています。

明和8年の火災は、正午過ぎに上角足軽屋敷(魚住の百姓家と記載した文献も有)より出火、西の丸御殿、家老屋敷、本丸、二の丸、三の丸、廟所、下原門まで類焼し、周囲の山林も焼き尽くし、岡城は全焼状態となりました。翌日、午後2時に鎮火しています。

久貞が藩政改革の断行を任せたのが、中沢三郎左衛門と井上並古でした。中沢氏は、里見氏の子孫で延享元年(1744)に任用され、古式先例・格式にとらわれない思い切った人事・機構改革および十六条から成る改革条目を制定して、農民救済と徹底した節約政策を展開しました。10年間実施した改革は、抜本的な経済基盤の改革までは実現しませんでした。大坂で岡大豆を藩の特産品として流通させました。岡大豆の値段によって大豆相場が決められ、米二石と大豆二石が同価格で取引されたようです。

中沢氏が宝暦3年(1750)退任した後を受け継いだのが井上並古です。明和9年(1772)財政窮乏を救うため岡銀札を通用させ、天明の改革により経済の立て直しを行いました。天明6年(1786)には、一代老職となりました。しかしながら、度重なる災害のため財政再建は大変困難でした。(佐伯 治)



なかがわ ひさとも (1859-1921)
 篤学の昆虫学者 中川 久知
 幕末の安政6年(1859)、中川久知は最後の岡藩主中川久昭の次男として岡城・西の丸で生まれる。ニカメイチュウ(稲のズイムシ)等の防除の研究に情熱を注ぎ、その害虫防除の技術は食糧増産に大いに貢献した。
 (竹田文化読本「竹田の月」より抜粋)

田能村竹田、廣瀬武夫、瀧廉太郎、朝倉文夫、佐藤義美…。竹田市は数多くの歴史上の人物を生み出しました。エッセイは、竹田に縁のある先人であれば、誰でも構いません。広報たけた「まるごと博物館」でも多くの先人をご紹介していますので、ぜひバックナンバーを参考にしてみてください。

岡藩城下町400年祭記念
竹田市先人顕彰エッセイ 全国募集中!
 締切迫る 12/21(金)まで
 当日消印有効

あなたの好きな竹田市ゆかりの歴史上の人物、竹田を訪れて初めて出会い、感動した竹田の先人…竹田市にゆかりある先人たちへのあなたの思いをエッセイにまとめてお送り下さい。

- 【募集要項】**
- ・竹田市ゆかりの先人たちをテーマにした自由エッセイ
 - ※チラシに載っている先人だけに限定されません。
 - ・原稿枚数1600字程度(400字詰原稿用紙4枚程度)
 - ・応募期間：平成24年9月1日(出)〜12月21日(金) 当日消印有効
- 【応募方法】**
- ・作品のタイトル、氏名(ふりがな)、年齢(児童・生徒の場合は学校名・学年)、性別、住所、電話番号を明記した別紙を添付して左記までお送りください。
 - お問い合わせ・お申込み
 〒878-8555
 大分県竹田市大字会々1650
 竹田市企画情報課 竹田市先人顕彰エッセイ係
 ☎0974-63-1111
 Eメール okahan400@city.taketa.lg.jp
 (※タイトルに「先人顕彰エッセイ募集」と明記のこと。ファックスでの応募は不可)



郷土の植物

(285)

阿孫 久見

第93回

イヨフウロ (フウロソウ科)

山地の草地や林縁に生育する高さ70センチほどの多年草です。

全体に下向きに毛があります。長い柄のある対生の葉は掌状で5個に中々深裂し、ふちには粗い不ぞろいの鋸歯があります。長さは8センチ、幅が10センチほどです。葉柄の基部には褐色の薄い膜質の托葉があります。葉は秋に美しく紅葉します。

夏から初秋の頃、長い花柄の先端に1〜2個の紅紫色の径3センチほどの5個の離弁花を上向きに咲かせます。花卉に

は細い枝分かれした濃い紅紫色の脈が目立ちます。

一名をシコクフウロともいい、四国産の標本に基づいて伊予風露の名があります。

竹田ではくじゅう山系で観察されますが、以前にくらべ背丈の高い森林に被圧され個体が減少しています。西日本の中央構造線の外帯(南側)に沿って分布する九州・四国・紀伊半島に共通する襲速紀(ソハヤキ)要素の植物で大分県の絶滅危惧種。花期は7月から9月です。

今月の食育レシピ



おもてなしに便利な豊後牛のローストビーフを手軽に作りましょう。赤身のもも肉で作るのが最適です。

簡単 ローストビーフ

〈材料〉8人分

牛もも肉 (塊)	300 g
塩	小さじ1
こしょう	少々
にんにく	1かけ
サラダ油	大さじ1
赤ワイン	少々
しょうゆ	40cc
ウスターソース	40cc
赤ワインマスタード	40cc
	適宜

作り方

1. 牛肉に塩、こしょう、にんにくをすり込む。
2. 約30分置き、煮くずれないように麻糸で縛る。
3. 鍋にサラダ油を熱し、牛肉の汁気を取って入れ、転がしながら全体に焼き色を付ける。
4. 赤ワインを加え、ふたをして時々転がしながら10〜15分くらい蒸し焼きにする。
5. ビニール袋にカッコの調味料を入れ、熱々の肉を漬け込みしばらく置く。
6. 薄切りにしたローストビーフを並べ、生野菜を盛り合わせる。マスタード等を添える。

すくすく 1歳



平成23年12月生まれ

誕生日 親
(地区・自治会)

平成25年1月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します！
 問 秘書広報係 ☎63-1043

税金

個人住民税の申告について

(申告期間 平成25年2月から3月)

雑損控除について

災害または盗難若しくは横領によって、資産について損害を受けた場合等には、一定の金額の所得控除を受けることができます。

1. 損害の原因

次のいずれかの場合に限られます。

- (1) 震災、風水害、冷害、雪害、干害、落雷、噴火など自然現象の異変による災害
- (2) 火災、火薬類の爆発など人為による異常な災害
- (3) 害虫などの生物による異常な災害
- (4) 盗難
- (5) 横領

なお、詐欺や恐喝の場合には、雑損控除は受けられません。

2. 雑損控除として控除できる金額

次の2つのうちいずれか多い方の金額です。

- (1) (差引損失額) - (総所得金額等) × 10%
- (2) (差引損失額のうち災害関連支出の金額) - 5万円

3. 差引損失額の計算のしかた

差引損失額 = 損害金額 + 災害関連支出の金額
- 保険金などで補てんされる金額

- (注) 1. 「損害金額」とは、損害を受けた時の直前におけるその資産の時価を基にして計算した損害の額です。
2. 「災害関連支出の金額」とは、災害により滅失した住宅、家財などを取壊しまたは除去するために支出した金額などです。
3. 「保険金などにより補てんされる金額」とは、災害などに関して受け取った保険金や損害賠償金などの金額です。
4. 事業用資産の損失は、事業所得の経費計算となるので、雑損控除としては扱いません。

4. 雑損控除を受けるための手続

申告書に雑損控除に関する事項を記載するとともに、災害関連支出の金額の領収を証する書類を添付してください。また、保険金など補てんされる金額のわかる支払通知書、または保険金が払い込まれた通帳をご持参ください。給与所得のある方は、このほかに給与所得の源泉徴収票(原本)を申告書に添付してください。

また、所得税の確定申告をした人は、住民税申告を行う必要はありません。

年末調整や確定申告の注意点について

年齢16歳未満の扶養親族(年少扶養親族)に対する扶養控除が廃止されましたが、住民税を計算する際に、課税、非課税の算定をするために必要になりますので、申告の際は、必ず年少扶養親族をご記入ください。

記入し忘れますと、住民税額の算定に影響しますのでご注意ください。

●お問い合わせ 竹田市税務課 課税係
☎ 63-1111 (内線 125・126)

差押財産合同公売会を開催します。

竹田市では市税等徴収のため差押えた動産の公売を実施しています。今回は佐伯市、臼杵市と合同で下記のとおり公売会を実施します。

日時 平成25年1月6日(日) 10:30 入場開始。

会場 佐伯市保健福祉総合センター和楽 大研修室
(佐伯市向島1丁目3番8号)

公売予定物品数 約100点

公売方法 入札形式

必要なもの ①印鑑 ②購入代金 ③身分証明書
④委任状(代理人が入札する場合)

●お問い合わせ 竹田市税務課管理係
☎ 63-1111 (内線 129)

年金

【20歳になったら国民年金】

日本に住んでいる20歳以上60歳未満のすべての方は、国民年金に加入して保険料を納めることになります。

自営業者・学生・フリーターの方などが20歳になったときは、国民年金加入の手続きが必要です。また、厚生年金保険や共済組合の加入者(第2号被保険者)に扶養されている配偶者の方が20歳になったときは、第2号被保険者の勤務先を経由して加入の手続きを行うことになります。

●お問い合わせ 日本年金機構 大分年金事務所
☎ 097-552-1211

消費生活相談

消費生活相談窓口からの注意喚起

- インターネットを利用する際は注意を! -

パソコンを起動するたびにアダルトサイトの利用料金請求画面が表示され消えない、という相談が多く寄せられています。芸能人の画像を検索したり、占いサイトを利用しただけなのにアダルトサイトの請求画面が表示されることもあります。信用できないサイトはむやみにクリックしないように注意し、インターネットを閲覧する際は常に注意しながら利用しましょう。

●お問い合わせ

◎竹田市役所市民課窓口(消費生活相談)

8:30 ~ 17:00 ☎ 63-4834 (月~金・平日のみ)

◎大分県消費生活・男女共同参画プラザ(アイネス)

☎ 097-534-0999

成人式

平成25年竹田市成人式を開催します。

日時 平成25年1月13日(日)午後1時

場所 久住公民館サンホール

対象者 平成4年4月2日~平成5年4月1日までに生まれた人で、市内在住及び市内中学校を卒業し学業や就職等で市外に在住されている人。対象者には中学卒業名簿をもとに個別に案内を送付しましたが、まだ届いていない方はご連絡ください。

●お問い合わせ 竹田市教育委員会生涯学習課
☎ 76-0715

市民課

住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度について

竹田市では、住民票の写しや、戸籍謄抄本などの第三者交付に係る「本人通知制度」を平成24年11月1日から開始いたしました。

この制度は、本籍が記載された住民票の写しや戸籍謄抄本などを本人の代理人や第三者に交付したときに、その交付の事実を事前に登録した方(本人)に対して通知する制度です。

この通知により、住民票の写しなどの不正請求または取得を早期に発見でき事実関係を究明するきっかけとすることができます。

また、本制度が広く認知されることで、委任状偽造や不必要な身元調査などの抑止効果も期待されます。

○申請窓口 竹田市役所本庁 市民課

各支所 いきいき市民課

○申請に必要なもの

- ・本人確認書類(運転免許証など)
(代理人の場合)
 - ・法定代理人 法定代理人の資格を有する証明書類等
 - ・任意代理人 委任状
- ※詳しいことや不明な点は市役所市民課または各支所いきいき市民課へお問い合わせください。
なお、竹田市のホームページにも掲載していますので参考にしてください。

福祉

平成24年12月から「ひとり親医療助成事業」の制度がかわります

- 市役所での助成申請が不要になります。
- 医療機関で「受給資格者証」を毎回提示してください。
- 医療機関で一部自己負担金の支払いが必要になります。

【親】通院：1医療機関ごと1回500円まで
(負担上限：月4回)

入院：1医療機関ごと1日500円まで
(負担上限：月14日)

薬局：無料

【児童】通院、入院、薬局：いずれも無料

※「受給資格者証」が新しくなりました。まだ更新していない方は、至急に受け取りにおいでください。

●お問い合わせ 竹田市福祉事務所 ☎63-4811

雇用・人材育成

①大学生等向け大分県内企業による合同企業説明会(東京)

日時 平成25年1月12日(土) 11:00～16:30

場所 東京国際フォーラム ホールD5

対象 平成26年3月卒業予定の大学生等(一般の方、大学1、2年生の参加も可)

内容 大分県内企業参加の合同企業説明会を東京都内で開催します。

②大学生等向け大分県内企業による合同企業説明会(福岡)

日時 平成25年2月2日(土) 13:30～17:00

場所 福岡ファッションビル 8階Aホール

対象 平成26年3月卒業予定の大学生等(一般の方、大学1、2年生の参加も可)

内容 大分県内企業参加の合同企業説明会を福岡市内で開催します。

主催 大分県

●お問い合わせ

大分県商工労働部 雇用・人材育成課 雇用・人材育成課

☎097-506-3343

給食

学校給食共同調理場の給食物資納入業者募集

竹田中央学校給食共同調理場及び久住、直入学校給食共同調理場では、平成25年度学校給食用物資納入業者(野菜、果物、農産物加工品、精肉、地場産物等)の募集をします。

・納入希望者は、指名願いを各調理場に提出してください。用紙は下記の各調理場に指定のものを備えてあります。

*給食物資の納入には、一定の基準規格(納入時間、市内産・国内産、生産地記載)等がありますので、詳細は各調理場へお問い合わせください。

*25年度から2年有効

受付期限 平成25年1月11日(金)～1月25日(金)

●お問い合わせ・ご提出先

竹田中央学校給食共同調理場 ☎63-1170

久住学校給食共同調理場 ☎76-1157

直入学校給食共同調理場 ☎75-2270

学習会

心の病を考える地域学習会

日時 1月18日(金) 12:30受付 13:00開会

場所 竹田市総合社会福祉センター

演題 「障がい者の人権とハラスメントについて」

講師 松木和美氏(大分県人権教育啓発協議会人権研修講師)

申込締切 平成25年1月11日(金)

●お申込み・お問い合わせ 竹田やまなみ会

☎090-9725-5492

竹田市のこよみ 2012年12月

日	SUN	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	FRI	土	SAT			
	<p>竹田の情報番組 『ラジオミュージアム たけた』 FM大分☆竹田 81.8 MHz 毎週水曜日 15:00～15:55 竹田の楽しみ方を発信中!</p>	<p>■2013年1月の予定 1月1日(火) ・2013年新春歩こう会 6:00 スタート〔荻公民館～高鼻公園(荻町馬背野)〕◎荻公民館 ☎68-2025 ・元旦歩こう会 そうぞうの丘 7:00 ※1 ・第36回相良慶隆杯竹田元旦マラソン大会 10:00 開会(竹田市総合運動公園陸上競技場) ・初詣(祝言小話3番「高砂」「老松」「狸々」) 12:00～※入場無料(「塩津清人記念能舞台」竹田市向丁)◎竹田市総合まちづくりセンター(工藤) ☎62-3787 ・平成25年竹田新年互礼会 12:00～ ・おはなしのへや 10:30～11:00(竹田市立図書館えほんのへや) ・第1回農業委員会総会 12:00～ ・荻地域新年会(新年を祝う会) 15:00～ ※会費1,000円(荻公民館2階会議室) ・平成25年竹田市成人式 13:00～(久住公民館)</p>	<p>4 ・おはなしのへや 10:30-11:00 (竹田市立図書館えほんのへや) ・市民ギヤラリー水琴館 『mono96 FC 銀塩写真展』 (～12/9(日)まで) ・第12回農業委員会総会 12:00～ (市本庁舎3階委員会室)</p>	<p>5 ・「第5回語り部と竹田の町を見て歩く会～竹田の稲荷社めぐり～」 (講師:仲村隆雄)JR 豊後竹田駅 8:50 集合 ◎竹田観光案内所 ☎63-2638 ・豊肥子牛市場(9:30 セリ開始) ・3・6・12か月児健康診査 (3か月)13:00-13:20 受付 (6か月・12か月児)13:30-13:40 受付 (竹田市総合社会福祉センター) ・ブックスタート14:00～ (竹田市総合社会福祉センター)</p>	<p>6 ・竹田温泉「花水月」休館日 ・視覚障がい教育相談の おしらせ 10:30～ (豊後大野市中央公民館) ・こころの健康相談 13:30-15:30 (荻福祉健康エリリア) :要予約(☎63-3346)</p>	<p>7 ・竹田温泉「花水月」休館日 ・視覚障がい教育相談の おしらせ 10:30～ (豊後大野市中央公民館) ・こころの健康相談 13:30-15:30 (荻福祉健康エリリア) :要予約(☎63-3346)</p>	<p>8 ・白丹保育所発表会 9:00～ (白丹保育所ホール) ・荻保育所発表会 9:00～ (荻保育所ホール) ・竹田市歩こう会(運動公園) 本町丸倉 9:30 集合※1 ・書詔と絵本の会 10:00-11:30 (佐藤義美記念館(このおうち)) ・竹田市立藤ヶ丘中学校開校60周年記念式典・記念講演会「夢をあきらめないで」 (講師) 太田龍生(広島カープ); 打撃投手、縁中第28回卒業生) 13:30～(荻福祉健康エリリア) ・第3回古文書実践講座 13:30-16:50 (市民ギヤラリー水琴館)</p>	<p>9 ・竹田保育所発表会 9:00～11:30 (竹田保育所ホール) ・上浦との交流事業 (しめ縄づくり及び餅つき体験)9:00～ (佐伯市上浦「東雲中学校及び上浦地区公民館」) ・「大分遺産ウォーキング」 第33回・竹田市大会『白水ダムと神原溪谷めぐりウォーク』 10:00 スタート(あ相母学舎前広場) ・直入地域人権講演会 「いのちいたたく～いのちと仕事～」 (講師:坂本義壽氏/熊本県) 13:00～(義入中学校体育館) ◎直入支所いきいき市民課 ☎75-2211</p>	<p>10 ・おはなしのへや 10:30-11:00 (竹田市立図書館えほんのへや) ・こころの健康相談 (竹田古町会場) 13:30-15:30 (☎63-3346) ・市民ギヤラリー水琴館 『二九志乃会展』 (～12/28(金)まで)</p>	<p>11 ・おはなしのへや 10:30-11:00 (竹田市立図書館えほんのへや) ・こころの健康相談 (竹田古町会場) 13:30-15:30 (☎63-3346) ・市民ギヤラリー水琴館 『二九志乃会展』 (～12/28(金)まで)</p>	<p>12 ・「第5回語り部と竹田の町を見て歩く会～竹田の稲荷社めぐり～」 (講師:仲村隆雄)JR 豊後竹田駅 8:50 集合 ◎竹田観光案内所 ☎63-2638 ・豊肥子牛市場(9:30 セリ開始) ・3・6・12か月児健康診査 (3か月)13:00-13:20 受付 (6か月・12か月児)13:30-13:40 受付 (竹田市総合社会福祉センター) ・ブックスタート14:00～ (竹田市総合社会福祉センター)</p>	<p>13 ・竹田市歩こう会 (忘年歩こう会)歴史資料館 9:30 集合※1 ・竹田温泉「花水月」休館日 ・おはなしルーム (南部幼稚園)</p>	<p>14 ・発表会 9:00-11:00 (竹田幼稚園・南部幼稚園) ・おもちゃサイトミュージアム 13:00～(岡城跡駐車場) ※要予約;文化財課 ☎63-4818 ・荻地域人権啓発推進講演会 「いのちをいたないで、つなぐこと」 (講師:内田美智子氏/助産師・福岡県在住・荻町出身)13:20～ (荻福祉健康エリリア多機能室) ◎竹田市荻支所いきいき市民課 ☎68-2211</p>	<p>15 ・久住地域人権講演会 「生まれてきてくれてありがとう」 (講師:mon/女性シンガー) 9:30～(久住公民館くじゅうササノホール)◎久住支所いきいき市民課 ☎76-1111 ・生き生き興起雇用創出大作戦! (健康づくり備前市民公開セミナー) 13:30-16:00 (竹田市総合社会福祉センター) ・第24回クリスマス音楽のタベ 18:30-21:00 (竹田商工会議所2階ホール) ◎瀬瀬廉太郎 ☎63-1823 ・第4回古文書実践講座 13:30-16:50(市民ギヤラリー水琴館)</p>

※行政相談に関するお問い合わせは、行政相談委員まで(小河晴義 ☎62-3662、太田正一 ☎68-2480、渡辺善照 ☎77-2067、斉藤義昭 ☎75-2692)

<p>16</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回「雪っこカーニバルin久住」9:00～13:00(久住公民館) ◎竹田市社会福祉協議会久住支所 ☎ 64-3823、久住支所いきいき市民課 ☎ 76-1113 ・第24回さとうしめ竹田童謡祭～よしみのクリスマス～13:00～※入場無料(佐藤義美記念館) 	<p>17</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荻の里温泉全館休館日 	<p>18</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなしのへや 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや) ・大分県福祉人材センター主催「福祉のしごと出張相談」13:30-15:30(竹田市総合社会福祉センター) 	<p>19</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉療養文化館「御前湯」休館日 ・年金出張相談※一部予約制10:00-15:00(竹田市高齢者いきいき交流センター) ◎日本年金機構大分年金事務所 ☎ 097-552-1211 ・1歳6か月児健康診査 13:00～13:20受付(竹田市総合社会福祉センター) ・大分県行政書士会無料相談会 13:00-16:00(大分県行政書士会(大分市)) ・このころの健康相談 13:30-15:30(直入保健福祉センター) ・要予約 ☎ 63-3346 ・おはなしルーム 13:20-14:00(竹田幼稚園えほんのへや) 	<p>20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊肥成牛市場(9:30セリ開始) ・竹田温泉「花水月」休館日 	<p>21</p>	<p>22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・童謡と絵本の会 10:00-11:30(佐藤義美記念館「このこのうち」)
<p>23</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天皇誕生日 	<p>24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振替休日 ・クリスマスキャロル 13:00-15:00(竹田市総合社会福祉センター) 	<p>25</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【納期】市県民税4期、国民健康保険料6期、介護保険料、後期高齢者医療保険料6期 ・おはなしのへや 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや) ・このころの健康相談 13:30-15:30(竹田市総合社会福祉センター) ・要予約 ☎ 63-3346 ・龍廉太郎の歌をうたう会「クリスマス集い」 14:00～(龍廉太郎館蔵) 	<p>26</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健相談 14:00-16:00(竹田総合庁舎内豊肥保健所出張サービス会場にて) ・要予約 ☎ 0974-220162(豊肥保健所) 	<p>27</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このころの健康相談 13:30-15:30(久住保健センター) 要予約: ☎ 63-3346 ・竹田温泉「花水月」休館日 ・荻の里温泉全館休館日 	<p>28</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献血 10:00-16:00(竹田市総合社会福祉センター) ・おも城サイトミュージアム 13:00～(岡城跡駐車場) ※要予約:文化財課 ☎ 63-4818 ・消防団年末夜警(～12/30) ・荻の里温泉全館休館日 	<p>29</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荻の里温泉全館休館日

30

荻の里温泉年末年始のお知らせ
 12月30日(日)～1月6日(日)休まず営業致します。
 お正月は、荻の里温泉でゆっくりお過ごしください。
 ●お問い合わせ 荻の里温泉 ☎ 64-9595

31

月間・その他

- 「おおいた年末・年始の事故ゼロ運動」(H24.12/15(出)～H25.1/4(金))
- 歳末たすけあい運動(地域歳末たすけあい募金:～12月31日、NHK 歳末たすけあい:～12月25日)
- 地球温暖化防止推進月間
- 国際障害者デー(12/3(月))
- 世界人権デー(12/3(月))
- 障害者週間(12/3(月)～9(日))
- 人権週間 12/4(火)～12/10(月)
- 北朝鮮人権侵害問題啓発週間(12/10(月)～16(日))
- 「竹田中学生国際交流(ドイツ派遣)」※市内中学2年生10名がドイツでホームステイで滞在、交流を深めてきます(12/6(木)～14(金))

花水月 年末年始のお知らせ
 12月28日(金)～1月9日(日)休まず営業致します。

- 通常営業時間
 12月30日(日) 朝風呂 6:00～9:00
 大浴場 11:00～22:00
- 特別営業時間
 12月31日(月) 朝風呂 6:00～9:00
 大浴場 11:00～21:00
 1月1日(火) 大浴場 6:00～21:00
 (1階の朝風呂は致しません)
- 1月2日(水) 朝風呂 6:00～9:00
 大浴場 11:00～21:00
- 通常営業時間
 1月3日(木) 朝風呂 6:00～9:00
 大浴場 11:00～22:00

*露天風呂は29日(土)～6日(日)の期間営業致します。
 ご家族、帰省客の皆さんとは是非お越しください。
 お待ちしています。

●お問い合わせ 竹田温泉花水月 ☎ 64-1126

12月行政相談員による行政相談所の開設一覧

地域	相談日	時間	開催場所
竹田	12月19日(水)		竹田市社会福祉センター相談室
荻	12月20日(木)	10:00～12:00	荻支所 1階厚生室
直入	12月19日(水)		直入支所 相談室

※1 竹田市歩こう会 ☎ 62-2501(山本) ※2 竹田創生館 ☎ 62-4100

農業委員会事務局農地係からのお知らせ

- ・農地に係る各種申請受付の締め切りは、毎月15日です(15日が土日の場合は直前の金曜が締切日となります)。

●お問い合わせ 竹田市農業委員会事務局 ☎ 63-4815

農業振興

「竹田市農業振興地域整備計画」に関するアンケート
ご協力のお願い

竹田市では今年度から2年間かけて「農業振興地域整備計画」の策定を行っています。この計画は、10年先を展望した農業振興の基本計画で、農業の健全な発展を目指し、優良農地の確保や効率的な利用を図るための大切な計画です。

11月に無作為に抽出した農家の方へ、農業振興地域整備計画に関するアンケートを発送しておりますが、このアンケートは、農業・農村の現状を把握し、その内容を計画に反映させるために実施させていただくものです。返送期限は12月10日(月)までとなっておりますので、同封の返信用封筒に入れ切手を貼らずに投函してください。なお、アンケートの返送先は調査を委託している(一財)九州環境管理協会です。

対象の方におかれましては、アンケートの趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

●お問い合わせ 竹田市農政課 ☎ 63-4805

農業

農業用廃プラスチックを回収します

大分県農協竹田事業部と竹田市は連携して、農業用廃プラスチックの回収を下記のとおり実施します。

回収場所へ運搬する場合は、「運搬車両の表示」及び「書面の備え付け(携帯)」が法律で義務づけられています。備え付け書類など無い場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。また、回収当日は、印鑑が必要になります。

○回収する農業用廃プラスチック類

ハウスの農業用ビニール、農業用のマルチ資材、ラップサイレージ肥料袋(ビニール)、育苗用ポット、農薬のプラスチック製空容器など

○回収日程 農ビニールと農ポリに分類して持ち込んでください。

地域	日時	場所
荻	12月11日(火) 9:00～15:00	荻堆肥センター
竹田	12月12日(水) 9:00～15:00	飛田川中央倉庫前広場
久住	12月13日(木) 9:00～15:00	久住野菜集出荷場

※時間内での持ち込みをお願いします。

※処理経費は平成24年度は、大分県農協と市が処理に係る費用を助成していますので、個人の負担は1kgあたり5円です。廃プラ回収時に徴収します。

●お問い合わせ

大分県農協竹田事業部園芸課 ☎ 63-1224

竹田市農政課 ☎ 63-4805

〃 荻支所産業建設課 ☎ 68-2215

〃 久住支所産業建設課 ☎ 76-1115

〃 直入支所産業建設課 ☎ 75-2215

アライグマ防除講習会を開催します

内容 アライグマによる農業被害や生物多様性の危機を回避するため、生態及び生息分布状況、防除方法の講演や、捕獲方法の実習を行なうもの。

日時 12月7日(金) 13:00～15:00

場所 久住公民館(竹田市久住町大字久住 6145 番地)

●お問い合わせ 竹田市農政課 ☎ 63-4805

消防

電気自動車用急速充電設備の設置について

近年、電気自動車の普及が進んでおり、それに伴い、電気自動車のインフラ整備の一つとして、電気自動車用

の急速充電設備が、自動車販売店やガソリンスタンド・駐車場等に設置されることが考えられます。

急速充電設備は、その特性等を踏まえた火災予防上必要な安全対策について基準を定める必要があるため、この度、竹田市火災予防条例に電気自動車用の急速充電設備を対象火気設備等の対象として追加するとともに、設置する際の位置、構造及び管理について決めました。

急速充電設備を設置する場合は、事前に消防本部警防課予防係までご相談ください。

●お問い合わせ 竹田市消防本部警防課予防係

☎ 63-0119 (内線 29)

環境衛生

環境衛生課からのお知らせ

家庭用生ごみ処理機の購入時の補助金について

家庭から排出される生ごみは自家処理することで、ごみの減量化につながります。家庭用生ごみ処理機(電動式)を購入する場合、購入費に対して補助する制度を設けています。補助金の額は、生ごみ処理機の購入価格2分1以内で最高20,000円です。(竹田市内で購入)補助金の申請は、購入前に環境衛生課に申請書の提出をお願いします。(コンポスターは、補助対象外です)

●お問い合わせ 竹田市環境衛生課 ☎ 63-4821

保険課

高額介護合算療養費のお知らせを送付します

高額介護合算療養費とは、毎年8月から翌年7月までの1年間に支払った医療保険と介護保険の自己負担額の合計額が基準額を超えた場合に、その超えた額について支給される制度です。後期高齢者医療または国民健康保険で支給が見込まれる方に、平成25年1月にお知らせと支給申請書を送付します。

支給申請書に必要な事項を記入し、竹田市保険課または各支所いきいき市民課で申請手続きをしてください。

【申請に必要な書類】

支給申請書・お知らせの文書・印鑑・通帳等(口座情報が確認できるもの)・後期高齢者医療被保険者証または国民健康保険被保険者証・介護保険証

●お問い合わせ 大分県後期高齢者医療広域連合

☎ 097-534-1771 (代表)

竹田市保険課 国保・高齢者医療係

☎ 63-1111 (内線 135・136・137)

募集

竹田市陸上競技協会主催2大会の参加者を募集します

○第36回相良慶隆杯竹田元旦マラソン大会

日時 平成25年1月1日(火) 10:00 開会式、

場所 竹田市総合運動公園陸上競技場

○第35回河川合尚武旗 竹田職域・クラブ駅伝競走大会

日時 平成25年1月19日(土) 13:30 開会式、

場所 竹田市総合運動公園陸上競技場

詳しくは竹田市陸協ホームページをご覧ください。

<http://sports.geocities.jp/bmcfb817/>

第5回語り部と竹田の町を見て歩く会 竹田の稲荷めぐり

日時 12月12日(水) 豊後竹田駅 8:50 集合

主催 竹田観光ボランティアガイド委員会

コース 赤松稲荷→茶屋の辻稲荷→尾戸牟礼稲荷→赤坂稲荷など

講師 仲村陸雄さん(郷土史家)

参加費 500円

※12月開催予定の岡藩墓めぐりは2月に変更します。

●お申込み・お問い合わせ 竹田観光案内所 ☎ 63-2638

調理師

調理師免許をお持ちで、飲食店や給食施設等で調理業務に従事している人は、調理師法に基づく届け出が必要です。

- ◇平成24年12月31日現在の状況について、「調理師業務従事者届」を平成25年1月15日までに就業地を管轄する保健所(保健部)に提出してください(郵送可)。
- ◇用紙は、保健所(保健部)にあります。または、県庁HPからダウンロードすることもできます。
- ◇この届出は2年に一度行うもので、今年度は実施年度にあたります。

●お問い合わせ 大分県豊肥保健所 健康安全企画課
☎ 0974-22-0162

幼稚園

平成25年度 市立幼稚園の入園願書受付

竹田市立竹田幼稚園、南部幼稚園、直入幼稚園の3園では、平成25年度の入園願書の受付を始めます。

幼稚園には、市内全地域さらには市外希望者も入園することができます。

竹田地域・直入地域の子どもの保護者の方には入園願書を郵送します。12月中に願書が届かない場合、またその他の地域で入園を希望する場合は下記までご連絡ください。

◇対象となる子ども

- 竹田幼稚園・南部幼稚園
平成19年4月2日～平成20年4月1日生まれ(5歳児)
直入幼稚園
平成19年4月2日～平成21年4月1日生まれ(4・5歳児)

●お問い合わせ
学校教育課 ☎ 63-4833 竹田幼稚園 ☎ 63-1081
南部幼稚園 ☎ 63-1084 直入幼稚園 ☎ 75-2230

試験

公立学校臨時事務員及び非常勤職員採用候補者名簿登録試験を実施します

大分県教育委員会では、県立学校及び市町村立学校において、事務及び事務補助を行う臨時事務員及び非常勤職員の採用候補者名簿登録試験を実施します。応募書式等は、12月3日から大分県教育委員会のホームページに掲載し、大分県教育庁教育人事課や各教育事務所でも配布します。

募集期間 平成24年12月10日(月)～平成25年1月7日(月)
試験日 平成25年1月27日(日)●お問い合わせ 大分県教育庁教育人事課
☎ 097-506-5469

教育

「国の教育ローン」(日本政策金融公庫)をご案内します

高校、大学等への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。学生・生徒お1人につき300万円以内を、固定金利〔年2.45%(平成24年11月12日現在)母子家庭の方の利率は年2.05%(平成24年11月12日現在)〕で利用でき、在学期間内は利息のみのご返済とすることができます。

〔教育ローンコールセンター〕 0570-008656 (ナビダイヤル)
または ☎ 03-5321-8656

求人情報 ハローワーク豊後大野竹田職業相談室 ☎ 63-1101

- ①土木技術士 2人20～33万円 ②正看護師 2人24.1～33.7万円 ③栄養士 3人13.2～17.6万円 ④営業員 1人16～20万円 ⑤宴会場サービス 責任者候補 1人20万円 ⑥食品製造 1人14～19万円 ⑦歯科衛生士または歯科助手 1人11.1～12.4万円 ⑧土木施工管理者 3人40万円 ⑨清掃員 1人11.4万円 ⑩事務員 1人12.5万円 ⑪交通警備員 5人15.7～22.5万円 ⑫重機オペレーター 1人14.4～24万円
- 〔パート求人(時給)〕
- ⑬飲食サービス 2人680円 ⑭鮮魚担当者 1人750円 ⑮惣菜調整工 1人660円 ⑯レストラン接客係 3人900円 ⑰ホームヘルパー 2人1200円 ⑱レジ係・販売係 3人683円 ⑲正・准看護師 1人950～1,250円 ⑳製造員 1人680円 ㉑営繕係 1人750～800円 ㉒ホール厨房係 2人820～950円 ㉓販売員 1人660円 ㉔接客係 2人800～1,000円

大分県地域最低賃金は1時間653円です。
(H24年10月4日発効)

最低賃金制度をご存じですか？

事業所で働く人(嘱託、臨時、パートタイマー、アルバイトを含む)に支払う賃金は次の最低賃金を下回ることはできません。

大分県の最低賃金(地域別)額
時間給 653円 平成24年10月4日効力発生

- 最低賃金の対象となる賃金は、毎月支払われる賃金であって、通常の労働時間、労働日に対応する所定内賃金に限られます。従って、①賞与、結婚手当などの臨時的賃金 ②時間外手当などの時間外割増賃金 ③休日労働などの休日割増賃金 ④精皆勤手当、通勤手当、家族手当は含まれません。

●お問い合わせ 大分労働局労働基準部賃金室 ☎ 097-536-3215

休日及び夜間の在宅当番医院

大久保病院 ☎ 64-7777

受付時間 平日夜間 18:00～21:00
土曜日 13:00～21:00
休日 8:30～21:00

注意事項 ・かかりつけの病院がある場合は、できるだけそこで診てもらおうようお願いします。
・事前に症状、年齢、その他必要事項を病院へ電話連絡したうえで受診をしてください。
・症状が重い場合は救急車を呼んでください。

※竹田医師会病院でも電話で相談いただき、可能な場合は診療します。

小児科外来休日当番院

当番日	医療機関	電話番号
12月1日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
12月2日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
12月8日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
12月9日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
12月15日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
12月16日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
12月22日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
12月23日(日)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
12月24日(月)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
12月29日(土)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
12月30日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
12月31日(月)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
1月1日(火)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
1月2日(水)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
1月3日(木)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121

受付時間 8:30～11:30(こども診療所は9:00～11:30)

診療時間 9:00～12:00(三重東クリニックは8:30～12:00)

※土曜日については、上記以外にも診療を行っているところがあります。

- 豊後大野市民病院 (☎ 0974-42-3121)
<http://ogatahp.ddo.jp/>
- みやわき小児科 (☎ 0974-24-0230)
<http://www.miyawaki-kodomo.com/>
- 三重東クリニック (☎ 0974-22-6333)
<http://www.sekiaikai.jp/index.html>
- 大分県豊肥保健所 (☎ 0974-22-0162)
- 竹田市立こども診療所 (☎ 0974-63-3838)

相談時間：平日月～金 9:00～12:00

☎ 竹田市健康増進課 ☎ 0974-63-4810

受診時の注意

当番院は、やむを得ず変更になる場合があります。あらかじめ当番院または竹田市消防署(☎ 63-0119)にお電話で確認されるようお願いいたします。また、院外薬局が休みの場合は、あらかじめ用意されて約束処方となる場合がありますので、ご了承ください。

歯科休日当番医院

当番日	医療機関	電話番号
12月2日(日)	ふじさわ歯科医院(竹田)	0974-64-1118
12月9日(日)	まつもと歯科クリニック(竹田)	0974-62-2400
12月16日(日)	竹田市荻歯科診療所(荻)	0974-68-3263
12月23日(日)	長湯ごとう歯科(直入)	0974-75-3001
12月24日(月)	高山歯科医院(竹田)	0974-63-2561
12月29日(土)	竹下歯科医院(竹田)	0974-62-2662
12月30日(日)	長湯ごとう歯科(直入)	0974-75-3001
12月31日(月)	歯科筑紫医院(久住)	0974-76-0024

※診療時間を確認のうえ、受診してください。

○大分県歯科医師会 ☎ 097-545-3151

<http://www.oita-dental-a.or.jp/>



竹田の話題がまるごと観れるのはTCTだけ!!

◇たけた市民チャンネル 12月特番

10月20日(土)・21日(日)に開催されました、「第66回瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール」の模様をお届けします。今年も、全国から31校32名が出場しました。

全国から出場する高校生のすばらしい歌唱をお聞きください。

放送日 (予選の部) 12月8日、15日、22日
土曜日 20:00～
(本選の部) 12月9日、16日、23日
日曜日 20:00～

※都合により放送時間を、変更する場合がありますのでご了承ください。

岡藩城下町 400 年祭記念

竹田情感旅フォトコンテスト

テーマ：岡藩城下町 400 年祭が開催されている大分県竹田市の情感や旅をテーマとした作品

竹田市長賞
賞金 20 万円!

●お問い合わせ

竹田市観光ツーリズム協会
〒 878-0011 大分県竹田市会々 2250-1
☎ 63-0585 mail:info@taketan.jp
[URL] <http://竹田旅フォト.jp/contact.html>

締切り迫る!
12
28(金)
必着!